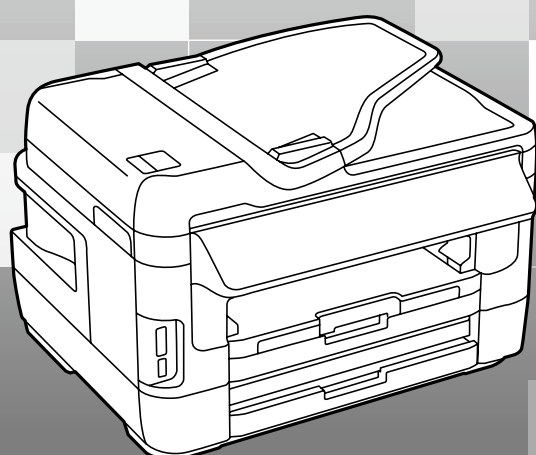


インクジェットプリンター（複合機）

ファクスガイド

ファクスの使い方全般を説明しています。

本書では PX-M5041F のイラストや画面を使用して説明しています。



もくじ

マニュアルの使い方とファクス画面の見方	2
---------------------------	---

■ファクスの準備

電話回線を接続	4
プリンターの設定	6

■ファクスを送信する

ファクス送信の基本操作	8
いろいろな送信方法	10

■ファクスを受信する

ファクス受信の方法	14
いろいろな受信方法	17
受信文書の処理方法	18
印刷する	
保存する	
転送する	

■その他のファクス機能

その他のファクス機能	22
各種レポート、リスト印刷	
セキュリティ設定をする	
ファクスジョブの状況を確認する	

■アドレス帳

アドレス帳	24
-------------	----

■困ったときは

困ったときは	26
ファクス機能診断結果一覧	
エラーコード一覧	
トラブル対処	

■付録

メニュー一覧	33
メールサーバーの設定	38
文字の入力	39

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

マニュアルの使い方とファクス画面の見方

本マニュアルは、プリンターのファクス機能を使うための準備と設定などを説明しております。用紙のセット方法や操作パネルの見方、コピー、スキャンなどの操作方法はプリンターに付属の『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

掲載画面とイラスト

- 本体イラスト
PX-M5041F を例に説明しているため、お使いの機種によって異なる場合があります。
- 操作パネルイラスト
PX-M5041F を例に説明しているため、お使いの機種によって異なる場合があります。また、設定状況によって異なる場合もあります。

本マニュアルは共通マニュアルのため、お使いの機種によって機能が異なります。また、プリンターに管理者を設定しているときは、[システム管理設定] の各種設定項目、[アドレス帳]、[お気に入り] は管理者のみ変更できます。各機種の詳細は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

記号の意味

！重要

必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足情報や参考情報を記載しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

【 】

ボタン名を示します。

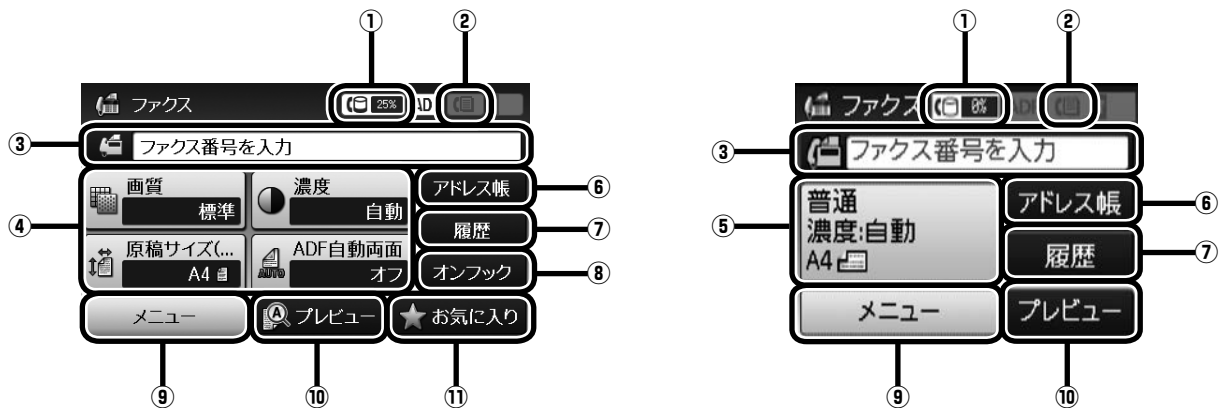
[]

パネルの表示（設定値や項目）を示します。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

ファクスモード画面の見方と使い方



①	ファクスメモリーの使用量を表示します。使用率が 100%になると送受信ができません。
②	未処理（未読や印刷していない、未保存など）のファクスがあるときに点灯します。 ファクスの受信中または送信中に点灯します。
③	タッチするとファクス番号入力画面が表示されます。
④	タッチして設定値を変更できます。[メニュー] - [送信設定] でその他の送信設定が変更できます。
⑤	タッチすると [送信設定] 画面が表示され、送信設定の変更ができます。
⑥	ファクスのアドレス帳が表示されます。
⑦	送受信した電話番号が表示されます。 通信結果は【ジョブ確認】ボタンで確認してください。 ☞「その他のファクス機能」-「ファクスジョブの状況を確認する」23 ページ
⑧	オンフックで送受信できます（対応機種のみ）。
⑨	送信メニューとレポート印刷が表示されます。
⑩	送信文書を画面で確認できます。 ☞「いろいろな送信方法」-「送信内容を確認してから送信する」11 ページ
⑪	現在の設定値をお気に入りに登録できます。また、登録した設定値を呼び出すこともできます。

メニューなどの選択画面



スライドバーがあるときは画面に続きがあります。[▲] [▼] または画面を指で上下にフリックすると画面を移動できます。

電話回線を接続

プリンターと電話回線を接続します。プリンターのセットアップ時にファクス設定をしなかったときは、ここから始めます。

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）、構内交換機（PBX）で使用できます。

ただし、以下のシステムや電話回線では使用できないことがあります。

- ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- 各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線
- 加入電話回線との間にターミナルアダプター、VoIP アダプター、スプリッター、ADSL モデムなどの各種アダプターと接続しているとき
- ドアホンやビジネスホンには対応していません

電話回線とプリンターの接続方法

モジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。お手持ちの 6 極 2 芯（RJ-11）のモジュラーケーブルを接続してください。

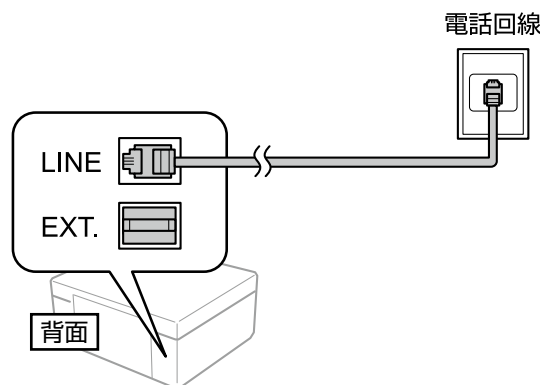
！重要

- 外付け電話機を接続するときのみ EXT. ポートのキャップを取り外してください。
- 電話線を分岐して電話機とプリンターを接続するなどのブランチ接続はしないでください。

参考

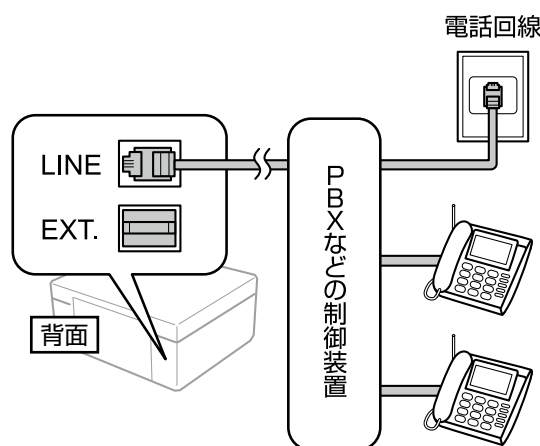
落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線



構内交換機（PBX）

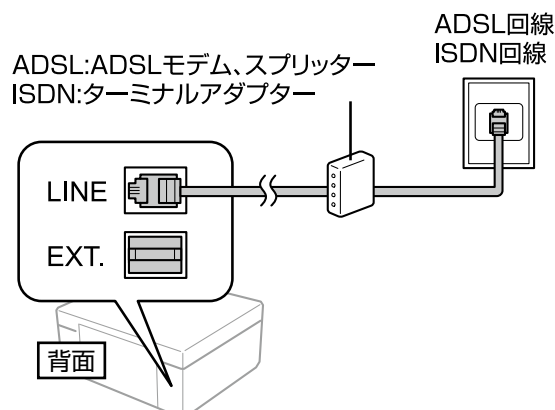
構内交換機を使った内線電話でご利用のときは、電話回線と本製品の間に PBX などの制御装置があります。



ADSL/ISDN

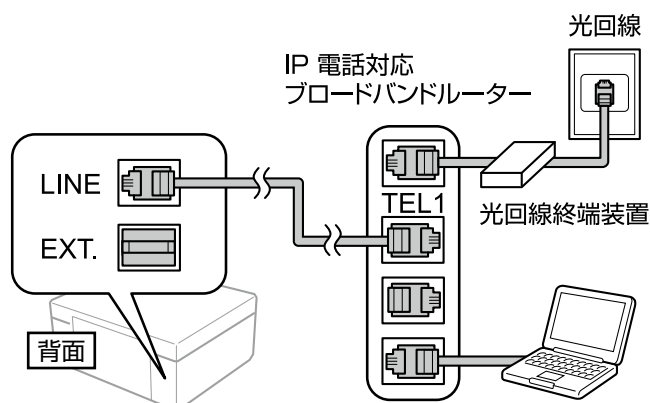
ADSL 環境で使用するときは ADSL モデム（別にスプリッターが必要な場合もあります）、ISDN 回線で使用するときはターミナルアダプターに接続してください。

設定の詳細はモデムまたはターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。



光回線

光回線で使用するときは IP 電話対応のブロードバンドルーターに接続します。設定の詳細はご契約の回線業者様に確認してください。



参考

2 回線契約していないときは必ずルーターの TEL1 (ポート名称はルーターにより異なります。A や 1 などの先頭の番号) に接続してください。

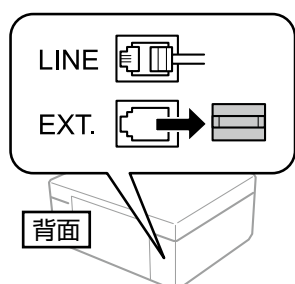
電話機とプリンターの接続方法

1 つの電話回線で、ファクスも電話も使用したいときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

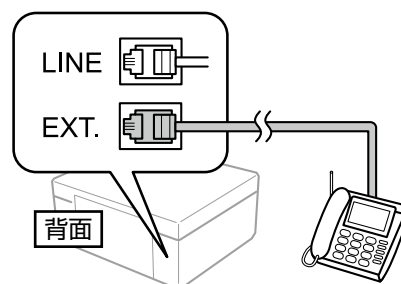
参考

- ファクス機能付き電話機を外付け電話機として使用するには、ファクス機能付き電話機のファクス機能を停止してから使用してください。詳細はファクス機能付き電話機のマニュアルをご覧ください。
- ナンバーディスプレイ機能や留守番電話機能を使うにはプリンターの設定が必要です。詳細は以下をご覧ください。
☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」 36 ページ
☞「ファクス受信の方法」-「使い方から受信方法を選択する」 15 ページ

1 プリンターの EXT. ポートからキャップを外します。



2 プリンターと電話機をモジュラーケーブルで接続します。



3 外付け電話機の受話器を上げて、プリンターの画面に「電話回線使用中です」のメッセージが表示されることを確認します。

表示されないときは、モジュラーケーブルの接続位置を確認してください。それでも表示されないときは以下をご覧ください。

☞「困ったときは」 26 ページ

プリンターの設定

プリンターをファクスとして使うには設定が必要です。以下の2通りの方法で設定できます。

- ファクス設定ウィザードで設定
- 個別に項目を選んで設定

プリンターを電話回線に接続してから設定してください。初回電源投入時にファクス設定したときは、プリンターの設定は終了しています。引っ越しなどで環境が変わったときは設定し直してください。

【ファクス設定ウィザード】で設定する

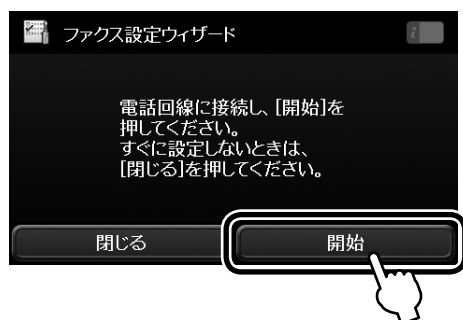
ファクスを使うために必要なプリンター設定を、画面の指示に従って行います。「ファクス設定ウィザード」は初回電源投入時にも自動で表示されます。

1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。

2 【システム管理設定】 - 【ファクス設定】 - 【ファクス設定ウィザード】を選択します。

3 【開始】を押します。

この後は、画面の指示に従って進めます。



4

文字入力画面が表示されたら、発信元名（会社名や自分の名前など）と発信元番号（接続した回線の電話番号）を入力します。

入力方法は、以下をご覧ください。

☞「文字の入力」39 ページ



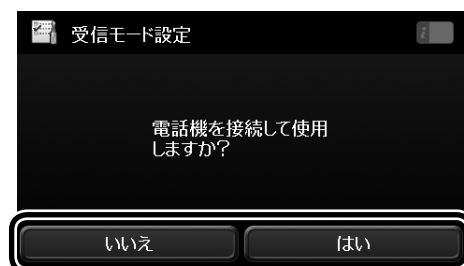
参考

登録した発信元名と発信元番号は、送信ファクスのヘッダー情報になります。



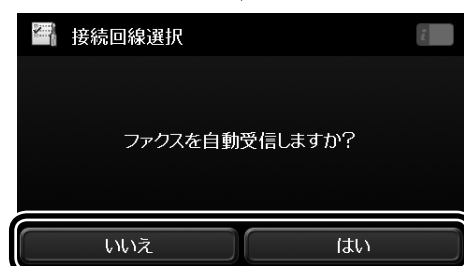
5

受信モードを設定します。



【いいえ】：「自動」に設定されます。

【はい】：外付け電話機を使用する設定にして次の画面に進みます。

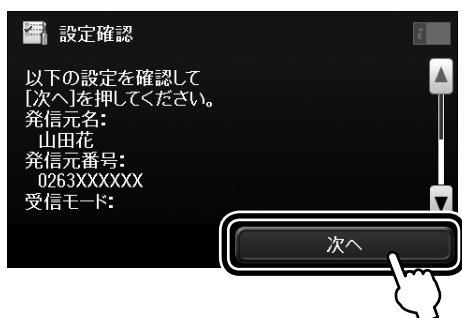


【いいえ】：「手動」に設定されます。

【はい】：「ファクス / 電話自動切替」に設定されます。

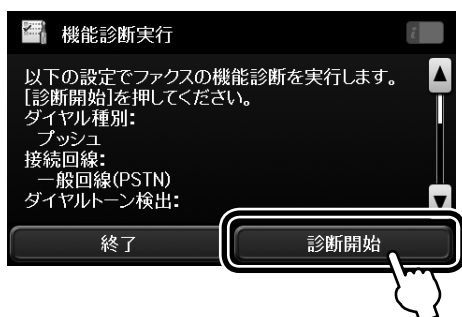
6 設定を確認します。

手順 4 ～ 5 で設定した内容が表示されているか確認し [次へ] を押します。
修正する場合は【戻る】ボタンを押してください。



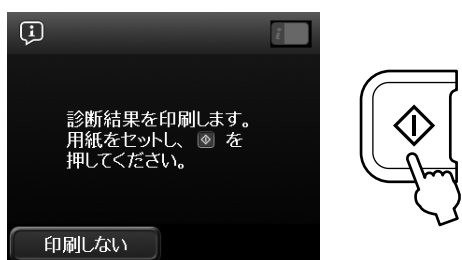
7 【診断開始】を押します。

プリンターの接続や回線接続を確認して送受信ができる状態が確認します。



8 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します（モノクロプリンターの場合は、モノクロの【スタート】ボタンを押します）。

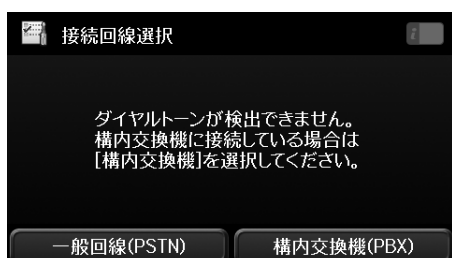
診断結果を印刷します。



ファクス診断レポートにエラーが表示されたら、「対処方法」に従って対処します。

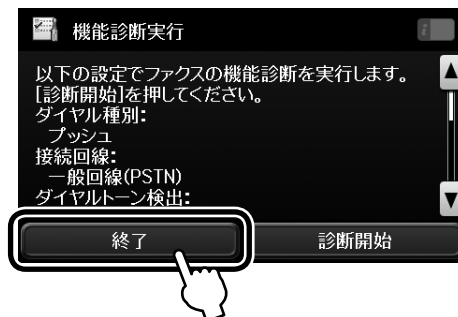
☞「困ったときは」 - 「ファクス機能診断結果一覧」
26 ページ

画面にメッセージが表示されたら画面に従って対処してください。



画面は表示例です。

9 【終了】を押します。



以上で終了です。

項目を選んで設定する

【ファクス設定ウィザード】で受信モードなどの基本設定をしてから、必要に応じてその他の項目を設定します。詳細は以下をご覧ください。

☞「メニュー一覧」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」
36 ページ

給紙装置を設定する（対応機種のみ）

複数の給紙装置（手差し給紙は除く）がある場合、受信文書やファクスレポートの印刷で使用しない給紙装置を設定します。初期値は全ての給紙装置が【オン】に設定されています。写真用紙などの専用紙をセットしたときは設定することをお勧めします。

参考

給紙装置にセットした用紙の種類とサイズを設定すると、受信文書のサイズに合わせて自動で用紙を給紙することができます。A3 サイズや B4 サイズで受信するときは（対応機種のみ）、用紙をカセットにセットしておいてください。詳細は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

1 ホーム画面からセットアップモードを選択します。

2 【システム管理設定】 - 【プリンター設定】 - 【給紙装置設定】を選択します。

3 【給紙口自動選択】 - 【ファクス】を選択します。

4 ファクスで使用しない給紙装置を選択して、【オフ】に設定します。

ファクス送信の基本操作

カラーまたはモノクロでファクスを送信します。原稿に合わせて送信設定を変更できます。

参考

- ファクスの送信時に、相手先が話し中などでつながらないときは自動でリダイヤルします。リダイヤル回数、リダイヤル間隔は変更できます。詳細は以下をご覧ください。
☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」34 ページ
- 電話回線が使用中（通話やファクス動作中）でも、送信予約ができます（モノクロメモリー送信最大 50 件、ダイレクト送信 1 件）。送信予約文書は[ジョブ確認メニュー]の[ジョブモニター]で確認、削除できます。
- [送信失敗文書保存]を[オン]にしていると送信できなかった文書が保存され[ジョブ確認メニュー]の[ジョブモニター]から再送信ができます。
☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」34 ページ

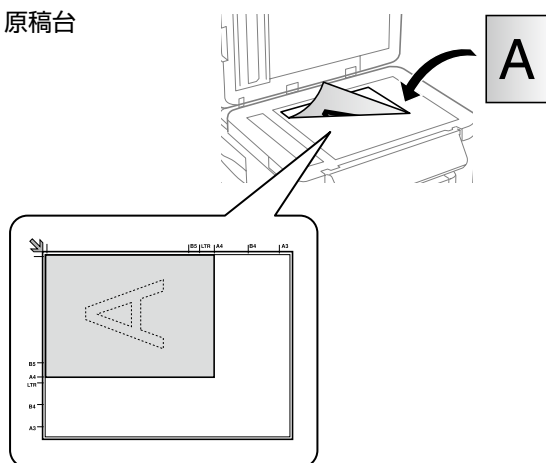
プリンターから直接ダイヤルする

操作パネルから宛先を指定して送信します。

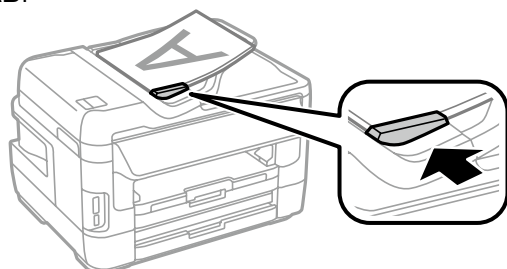
1 原稿をセットします。

一度に送れる原稿は 100 ページまでです。

原稿台



ADF



2

ホーム画面でファクスモードを選択します。



3

[ファクス番号を入力]を選択して、数字入力画面（またはテンキー）で宛先（ファクス番号）を入力します。

- [履歴]や[アドレス帳]と組み合わせて、複数の宛先（100 件または 200 件まで）が入力できます。ただし、カラー送信は宛先 1 件のみです。
- [セキュリティ設定]で[直接ダイヤル制限]が設定されているときは、テンキーからは入力できません。[アドレス帳]や[履歴]、ワンタッチボタンから入力してください。
- 外線発信番号を設定しているときは、電話番号の先頭に「#」を入力してください。
☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ

4

必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

[メニュー]-[送信設定]で設定値の変更ができます。ファクス画面の設定値をタッチしても変更できます。
☞「メニュー一覧」-「ファクスモード」33 ページ



参考

[お気に入り]（または[お気に入り]ボタン）を押すと送信設定が[お気に入り]に登録できます。

5 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

両面原稿のカラー送信はできません。

【スタート】ボタンを押す前に、[プレビュー]を押すと、送信内容を画面で確認できます。

☞「送信内容を確認してから送信する」11 ページ

参考

カラー送信は、読み取りながら送信するため通信に時間がかかります。また、カラー送信中は他の操作はできません。

この後は画面の指示に従って操作してください。
送信を中止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

外付け電話機からダイヤルする (手動送信)

ファクスを送信する前に通話したいときや、相手先が自動でファクスに切り換わらないときに外付け電話機を使って送信します。

1 原稿をセットします。

☞「ファクス送信の基本操作」8 ページ

2 外付け電話機の受話器を上げます。

3 外付け電話機から送信先にダイヤルをします。

4 「電話回線使用中です」のメッセージ画面で 【ファクス開始】を押してから【送信】を押します。

5 必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

[メニュー] - [送信設定] で変更できます。

6 ファクス信号（ピー音）が聞こえたらモノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押して受話器を置きます。

参考

外付け電話機からの送信時は、読み取りながら送信するため時間がかかります。送信中は他の操作はできません。

この後は画面の指示に従って操作してください。
送信を中止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

いろいろな送信方法

アドレス帳を使って送信する

アドレス帳に相手先の電話番号を登録しておくと、ファクス番号の入力が簡略でき、誤送信も防止できます。

アドレス帳の詳細は以下をご覧ください。

📞「アドレス帳」24 ページ

- 1 原稿をセットします。
📞「ファクス送信の基本操作」8 ページ
- 2 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3 ファクス画面で【アドレス帳】を押します。
- 4 リストから宛先を選択します。
チェックボックスをタッチすると選択できます。
解除するときは、もう 1 度タッチします。

[検索] を選択すると入力画面が表示されます。
登録名、よみがな、短縮番号で検索ができます。
- 5 宛先を全て指定したら【確定】を押します。
必要に応じて送信設定を変更します。
- 6 【スタート】ボタンを押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。送信を中止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

ワンタッチボタンから送信する (対応機種のみ)

頻繁に使用する電話番号はアドレス帳の 1 ～ 10 に登録すればワンタッチボタンから呼び出せます。アドレス帳の詳細は以下をご覧ください。

📞「アドレス帳」24 ページ

- 1 原稿をセットします。
📞「ファクス送信の基本操作」8 ページ
- 2 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3 ワンタッチダイヤルから宛先を選択します。
必要に応じて送信設定を変更します。

- 4 【スタート】ボタンを押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。送信を中止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

オンフックダイヤルを使う (対応機種のみ)

相手先の音声ガイダンスに従って、送受信の操作をします。

- 1 原稿をセットします。
📞「ファクス送信の基本操作」8 ページ
- 2 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3 【オンフック】を押します。
オンフックの画面が表示され、ツーン音が聞こえます。
- 4 アドレス帳、テンキー（数字キー）で宛先を入力します。
ダイヤル発信音が聞こえます。

参考

スピーカーの音量調節ができます。



- 5 音声またはファクス信号（ピー音）が聞こえたら【送受信開始】を押して【送信】を押します。
音声ガイダンスが流れたときは、ガイダンスに従って数字を入力してから【送受信開始】を押してください。
- 6 【スタート】ボタンを押します。

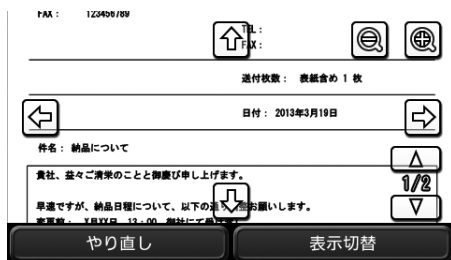
送信内容を確認してから送信する

ファクス送信前にプレビュー画面で送信内容を確認できます。ダイレクト送信やカラー送信時はプレビューできません。

参考

相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質のまま送信されないことがあります。

- 1 原稿をセットします。
☞「ファクス送信の基本操作」8 ページ
- 2 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3 宛先を入力します。
必要に応じて送信設定を変更します。
- 4 [プレビュー] を押します。
- 5 プレビュー画面で送信文書を確認します。



◀ ▶ ⬆ ⬇ : 矢印方向に画面が移動します。
 ⌕ : 縮小 / 拡大します。
 ▲ ▼ : 前ページ / 次ページに切り替えます。
 [やり直し]: プレビューを中止します。
 [表示切替]: 操作アイコンの表示の有無を切り替えます。

参考

プレビュー中に無操作が 20 秒以上続くと、自動で送信を開始します。

- 6 確認したらモノクロの【スタート】ボタンを押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。送信を中止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

指定した時刻に送信する

指定した時刻にモノクロ文書を送信します。指定時刻にプリンターの電源が入っていないときは、電源を入れた時点で送信が開始されます。

- 1 原稿をセットします。
☞「ファクス送信の基本操作」8 ページ
- 2 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3 宛先を入力します。
必要に応じて送信設定を変更します。
- 4 [メニュー] を押して、[時刻指定送信] を選択します。
- 5 [オン] を選択して、送信予定時刻を入力します。
- 6 [決定] を押して、モノクロの【スタート】ボタンを押します。
送信を中止するときは【ジョブ確認】ボタンを押して [ジョブモニター] - [通信ジョブリスト] から中止してください。

宛先を指定しないで送信文書を蓄積する

定型文などの同じ文書を繰り返し送信したいときに、送信文書を蓄積しておくと便利です。蓄積文書は 1 ファイル 100 ページまでのモノクロのみ可能です。

- 1 原稿をセットします。
☞「ファクス送信の基本操作」8 ページ
- 2 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3 [メニュー] を押して、[待機文書蓄積] で [オン] を選択します。
必要に応じて送信設定を変更します。
- 4 モノクロの【スタート】ボタンを押します。
蓄積文書が残っているときは上書き確認画面が表示されます。
蓄積文書を送信するときは、以下をご覧ください。
☞「その他のファクス機能」- 「ファクスジョブの状況を確認する」23 ページ

受信相手の操作で送信する (ポーリング送信)

ポーリング送信用にファクス文書を蓄積して、ポーリング機能のある他のファクス機の操作で蓄積ファクスを送信できます。

ポーリング送信用の蓄積文書は 1 ファイル 100 ページまでのモノクロのみ可能です。

- 1 原稿をセットします。
☞「ファクス送信の基本操作」8 ページ
- 2 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 3 [メニュー] を押して、[ポーリング送信] で [オン] を選択します。
必要に応じて送信設定を変更します。
- 4 モノクロの [スタート] ボタンを押します。
以前に蓄積したポーリング送信用文書が残っているときはポーリング文書上書き確認画面が表示されます。

同じ宛先の送信文書をまとめて送信する (バッチ送信)

同じ宛先に送信する複数の予約文書を、最大 5 文書、100 ページまで自動でまとめて送信できます。通信回数を減らせるため通信費が削減できます。

参考

- 時刻指定送信文書は、宛先と時刻が一致したときのみです。
- ダイレクト送信や優先予約、PC-FAX 送信、カラー送信文書などのファクスは対象外です。

- 1 ホーム画面からセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [送信設定] を選択します。
- 3 [バッチ送信] で [オン] を選択します。
☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」34 ページ

A4 縦置き原稿を回転送信する (回転送信) (A3 サイズ対応機種のみ)

A4 縦置き原稿を回転させて A4 文書として送信します。相手先で A3 用紙に A4 サイズで印刷されたり、A4 用紙に A5 サイズで印刷されるなどのトラブルを防ぎます。
(PX-M5041F/PX-M5040F は ADF に原稿をセットしたときのみ有効)

- 1 ホーム画面からセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [送信設定] を選択します。
- 3 [回転送信] で [オン] を選択します。
初期値は [オン] です。
☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」34 ページ

<出力例>

送信側

A4 縦置きにセット



受信側

[オフ] の設定で送信

A3 に印刷



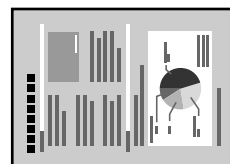
A4 に縮小

または



[オン] の設定で送信

90° 回転処理をした送信文書を A4 用紙に印刷



大量ページのモノクロ原稿を送信する (ダイレクト送信)

モノクロ原稿は通常メモリー送信するため、大量のページをファクスするときにプリンターのメモリーが不足して送信できないことがあります。ダイレクト送信にすると送信できます。

参考

複数の宛先を設定しているときはできません。

ホーム画面からファクスモードを選択して[メニュー]-[送信設定]-[ダイレクト送信]を[オン]に設定します。

優先してファクスを送信する(優先送信)

送信待ち原稿があるときでも、急ぎの原稿を優先して送信することができます。ただし、ダイレクト送信や手動送信、カラーファクス送信、PC-FAX 送信より優先することはできません。

ホーム画面からファクスモードを選択して[メニュー]-[送信設定]-[優先送信]を[オン]に設定します。

異なるサイズの原稿を ADF から送信する

ADF から異なるサイズの原稿を一つの文書として送信することができます。ただし、原稿サイズごとにセットして送信するか、1 枚ずつセットして送信する必要があります。原稿の追加は画面の指示に従ってください。

参考

- 異なるサイズの原稿を一度にセットすると、セットした原稿の最大サイズで全ての原稿が送信されます。
- 次の原稿をセットする案内が表示されたら 20 秒以内に[はい]を押さないと蓄積が終了して送信されます。

ホーム画面からファクスモードを選択して[メニュー]-[送信設定]-[ADF 原稿追加]を[オン]に設定します。

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターに「FAX Utility」をインストールすると、PC-FAX ドライバーを使ってファクス送信できます。「PC-FAX ドライバー」はアプリケーションソフトで作成した文書などのデータを、コンピューターからそのままファクス送信するソフトウェアです。

「FAX Utility」、「PC-FAX ドライバー」のインストール方法や起動方法は、『ユーザズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。操作方法は、「FAX Utility」、「PC-FAX ドライバー」のヘルプをご覧ください。[ヘルプ]または[?]をクリックすると、ヘルプが表示されます。

ファクス受信の方法

ファクス受信モードには、以下の3通りがあります。

- プリンターだけで受信（自動受信）
- 外付け電話機で受けてから受信（手動受信）
- ファクスと通話を自動判別して受信（ファクス / 電話自動切替）

受信方法がわからない方は以下をご覧ください。

🔗「使い方から受信方法を選択する」15 ページ

参考

モノクロプリンターはカラー文書の受信はできません。モノクロ文書のみ受信します。

受信モードを設定する

受信モードを設定します。

- 1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [受信設定] を選択します。
- 3 [受信モード] を選択します。
[自動]・[手動]・[ファクス / 電話自動切替] から選択します。

自動受信

自動受信はファクス専用でご使用になる方やファクス利用が多い方にお勧めです。

設定した回数（初期値は5回）の着信音が鳴り終わると、自動的にファクス受信を開始します。初期値は自動受信に設定されています。

！重要

外付け電話機を接続しないときは、必ず自動受信モードに設定してください。

参考

[呼び出し回数] の設定は、以下をご覧ください。
🔗「メニュー一覧」 - 「ファクス設定」34 ページ

手動受信

ファクス利用が少ない方や一度電話に出てから受信したい方にお勧めです。

外付け電話機で電話を受けてからプリンター操作で受信を開始します。

参考

リモート受信を設定しておく、プリンターで操作しなくても外付け電話機だけで受信を開始できます。

🔗「いろいろな受信方法」 - 「外付け電話機だけで受信する（リモート受信）」17 ページ

手動受信の操作

- 1 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
- 2 ファクス信号（ポー音）が聞こえたら操作パネルの[ファクス開始]を押します。
- 3 [受信] を押して、モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押してから、受話器を置きます。

ファクス / 電話自動切替

ファクス / 電話自動切替は1つの電話回線しかないが、ファクスも電話も使用したい方にお勧めです。着信時にファクス受信または音声通話なのかをプリンターが自動で判断します。


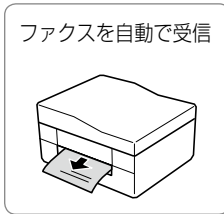
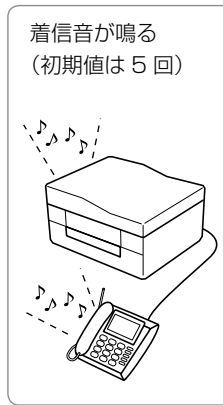
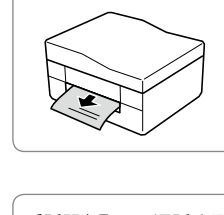

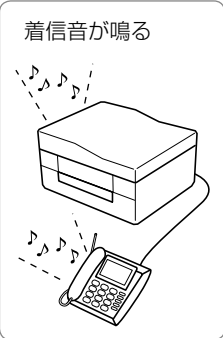

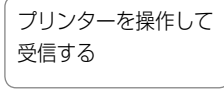
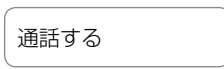
相手がファクスの場合は自動で受信を開始し、音声通話の場合は外付け電話機を鳴らします。

！重要

外付け電話機を呼び出しているときにも、発信者に課金されます。

使い方から受信方法を選択する

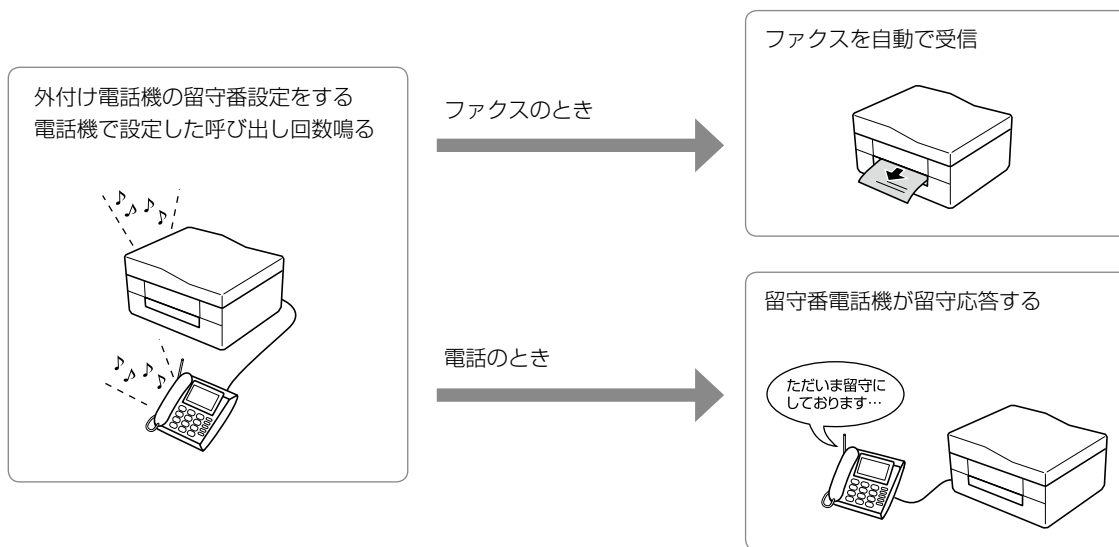
ご使用の環境に合わせて受信方法を選択してください。初期値は「自動」に設定されています。

外付け電話機	使用環境	受信モード	動作
接続しない	電話回線をファクス専用で使用する	自動	<p>着信音が鳴る (初期値は 5 回)</p>  <p>ファクスのとき</p>  <p>ファクスを自動で受信</p> <p>呼び出し回数を 0 回に設定すると、着信音を鳴らさずにファクス受信できます（無鳴動着信）。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」34 ページ</p>
接続する	電話回線が 1 回線でファクスも電話も使用するが、ファクスは自動で受信したい	ファクス / 電話自動切替	<p>着信音が鳴る (初期値は 5 回)</p>  <p>ファクスのとき</p>  <p>ファクスを自動で受信</p> <p>電話のとき</p>  <p>着信は鳴ったまま</p> <p>受話器を取って通話する</p> <p>受話器を取らない 設定した【電話呼び出し回数】を鳴らした後、ファクスに切り替わる</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼び出し回数を 0 回にすると、プリンターと外付け電話機の着信音は鳴りません。 プリンターのメモリーが不足してファクス受信ができないときは、プリンターと外付け電話機の両方が鳴ります。
	電話回線が 1 回線で、主に通話で使用	手動	<p>着信音が鳴る</p>  <p>受話器を上げる</p>  <p>ファクスのとき</p>  <p>プリンターを操作して受信する</p> <p>電話のとき</p>  <p>通話する</p> <p>リモート受信を設定しておくで、外付け電話機の操作だけで、受信を開始できます。 ☞「いろいろな受信方法」-「外付け電話機だけで受信する（リモート受信）」17 ページ</p>

留守番電話、ナンバーディスプレイ電話の受信設定

留守番機能付き電話機を接続

留守番機能を使うには設定が必要です。

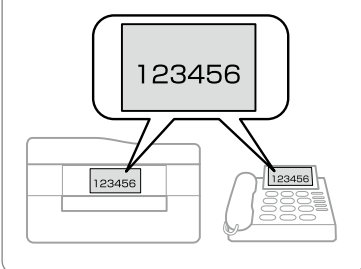


- プリンターの受信モードは「自動」に設定します。
- 自動受信するまでの呼び出し回数を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少ないと先にプリンターが応答を始めるため留守番電話への録音や通話できません。電話機の呼び出し回数の設定は電話機のマニュアルをご覧ください。
- 外付け電話機の留守番機能を使用しないときは、「ファクス / 電話自動切替」に設定することをお勧めします。

ナンバーディスプレイ対応電話機を接続

- 電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。
- ナンバーディスプレイを表示するには、プリンターの設定が必要です。[セットアップモード] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基本設定] で「ナンバーディスプレイ対応」を設定します。
[外付け電話機優先] は外付け電話機とプリンターに電話番号が表示されます。[オン] はプリンターにのみ電話番号が表示されます。
アドレス帳に登録されている相手先は名称で表示されます。
- ナンバーディスプレイ機能を使った着信拒否機能はプリンターにはありません。印刷したくないときは受信ボックスに保存するか、自動受信で「外付け電話機優先」に設定して外付け電話機の着信拒否をご利用ください。詳細は電話機のマニュアルをご覧ください。

接続例



表示例

電話番号（アドレス帳に登録があればその名称）
非通知（発信者が拒否）
表示圏外（国際電話など）
公衆電話
表示できません

いろいろな受信方法

ポーリング受信する

相手先のファクス機にダイヤルして、蓄積されたポーリング用文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取るときに使用します。

参考

音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用するときはポーリング受信は使用せず【オンフック】（対応機種のみ）でダイヤルするか、外付け電話機を使用して接続してください。

- 1 ホーム画面からファクスモードを選択します。
- 2 【メニュー】を押して、【ポーリング受信】を選択します。
- 3 【オン】を選択してファクス番号を入力します。
 - 【セキュリティ設定】で【直接ダイヤル制限】を設定しているときは、テンキーからは入力できません。【アドレス帳】や【履歴】から設定してください。
 - 頻繁にポーリング受信する宛先はアドレス帳に登録しておくとう便利です。
- 4 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

受信を中止するときは【ストップ】ボタンを押してください。

外付け電話機だけで受信する （リモート受信）

手動受信では受話器を上げた後にプリンターの操作が必要です。リモート受信を設定しておくとう外付け電話機の操作だけでファクス受信できるようになります。

リモート受信を設定する

- 1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。
- 2 【システム管理設定】 - 【ファクス設定】 - 【受信設定】を選択します。

- 3 【リモート受信】で【オン】を選択します。

- 4 【起動コード】を選択し、2桁（0-9、*、#の組み合わせ）の数字を入力します。

初期値は【**】です。

- 5 【決定】を押します。

リモート受信する

リモート受信の操作はトーン信号（ピッポッパッ）に対応した電話機のみです。

- 1 外付け電話機の着信音が鳴ったら受話器を上げます。
- 2 ファクス信号（ポー音）を確認したら、設定した起動コードを外付け電話機から入力します。
- 3 受信を開始したら受話器を置きます。

受信したファクスを画面で見る

受信したファクスを印刷しなくてもプリンターの画面で内容を確認できます。画面で確認時に印刷や削除ができます。詳細は以下をご覧ください。

☞「受信文書の処理方法」 - 「保存する」18ページ

受信文書の処理方法

受信した文書は、印刷、保存、転送のいずれかの方法で処理できます。また印刷と保存など組み合わせることもできます。

印刷する

保存や転送をしない受信文書は印刷されます。設定をすれば用紙サイズに合わせて最適な印刷をしたり、受信文書の印刷を停止しておくことができます。

参考

転送や保存をしても印刷したいときは、以下をご覧ください。

☞「保存する」18 ページ

☞「転送する」20 ページ

印刷設定を変更する

1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。

2 [システム管理設定] - [ファクス設定] を選択します。

3 [出力設定] を選択して、以下の項目を設定します。

項目名	説明
自動縮小印刷	☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」 34 ページ
自動回転印刷	
正順出力	
印刷開始タイミング	
印刷停止時間の設定	

保存する

受信文書を、プリンターの受信ボックスやUSB フラッシュメモリーなどの外部メモリーに保存したり、コンピューターに直接保存したりできます。

受信ボックスに保存する

受信した全ての文書をプリンターの受信ボックスに 100 件まで保存できます。この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要があれば印刷します。

参考

保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、100 件まで保存できないことがあります。

■ 設定する

受信文書を受信ボックスに保存する設定をします。

1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。

2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] を選択します。

3 [受信ファクスの処理] を選択します。
現在の設定が表示されます。

4 [設定変更] を押して [受信ボックスに保存] を選択します。

5 [オン] を選択します。

6 受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します（対応機種のみ）。

項目名	説明
新規受信データを印刷する	受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
ファクス受信しない	相手側からの呼び出しに応答しません。

■ 文書を確認する（画面で見る）

受信ボックスの受信文書をプリンターの画面で確認します。

- 1 ホーム画面でファクスモードを選択します。
未読などの未処理文書があると、ファクスモードアイコンに未処理件数が表示されます(対応機種のみ)。



- 2 「受信ボックスを開く」を選択します。



- 3 受信ボックスにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力します。

☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」34 ページ

参考

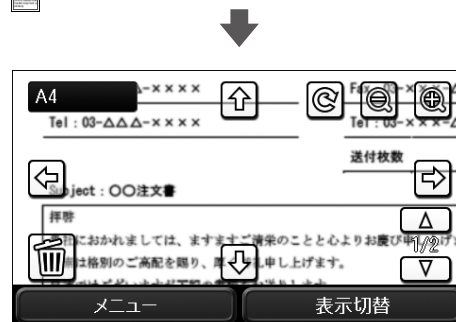
プリンターに管理者を設定しているときは、管理者パスワードを入力しても開きます。

- 4 受信文書をリストから選択します。

プレビュー画面が表示されます。



📄は未読の文書です。



🔄：右に 90° 回転します。
 ⬅️ ➡️ ⬆️ ⬆️：矢印方向に画面が移動します。
 🔍 🔍：縮小 / 拡大します。
 ⬆️ ⬆️：前ページ / 次ページに切り替えます。
 🗑️：表示されている文書を削除します(対応機種のみ)。
 [表示切替]：操作アイコンの表示、非表示を切り替えます。

- 5 確認したら 🗑️ を押して文書を削除する(対応機種のみ)か、[メニュー] を押して印刷や削除をします。

！重要

プリンターのメモリーの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

外部メモリーに保存する

受信文書を外部メモリーに保存します。外部メモリーに保存された文書はプリンターから削除されます。

！重要

外部メモリーに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空き容量が不足すると送受信ができなくなるため、外部メモリーはプリンターにセットしておいてください。一時保存の文書件数はファクスモードアイコンに表示されます(対応機種のみ)。

☞「受信文書が未処理のときの表示(対応機種のみ)」23 ページ

■ 外部メモリーにフォルダーを作成する

外部メモリーに受信文書を保存するには、外部メモリーに受信文書保存用のフォルダーを作成しておく必要があります。対応する外部メモリーは『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。

- 1 外部メモリーをセットして、ホーム画面でセットアップモードを選択します。

- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [受信ファクスの処理] を選択します。

- 3 [受信ファクスの処理] 画面で [設定変更] を押します。

- 4 [その他の設定] - [保存専用フォルダーの作成] で [作成開始] を押します。

フォルダー作成が終わると [その他の設定] 画面に戻ります。

■ 外部メモリーに保存する設定をする

- 1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。

- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [受信ファクスの処理] を選択します。

3 [受信ファクスの処理] 画面で [設定変更] を押します。

4 [外部メモリーに保存] - [オン] を選択します。
[オン (印刷もする)] を選択すると、外部メモリーへの保存と印刷が同時にできます。

参考

外部メモリーに保存した文書は PDF 形式で保存されるため、プリンターの「外部メモリーから印刷モード」で印刷できます (対応機種のみ)。

コンピューターに保存する

受信文書をコンピューターに保存するには FAX Utility で設定します。コンピューターに保存された受信文書はプリンターから削除されます。

！重要

コンピューターに保存する前に、受信文書はプリンターのメモリーに一時保存されます。プリンターのメモリーの空容量が不足すると送受信ができなくなるため、保存先のコンピュータは起動しておいてください。一時保存の文書件数はファクスモードアイコンに表示されます (対応機種のみ)。

☞「受信文書が未処理のときの表示 (対応機種のみ)」
23 ページ

「FAX Utility」の設定をする

「FAX Utility」はファクスの送受信や各種設定を行うソフトウェアです。インストール方法や起動方法は、『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。また「FAX Utility」の使い方は「FAX Utility」のヘルプをご覧ください。

■ プリンターを設定する

コンピューターへの保存と同時に自動で印刷もしたいときは、FAX Utility での設定終了後にプリンターで以下の設定をします。

1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。

2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [受信ファクスの処理] を選択します。

3 [受信ファクスの処理] 画面で [設定変更] を押します。

4 [PC-FAX で受信] - [オン (印刷もする)] を選択します。

[オフ] を選択すると、コンピューターへの保存を解除することができます。

転送する

受信文書を他のファクス機に直接転送したり、コンピューターを使わずにプリンターから直接ネットワーク上の指定フォルダーや E メールアドレスに転送したりできます。転送した受信文書は、プリンターから削除されます。他のファクス機に転送する場合、カラーの文書は転送できません。転送失敗文書として処理されます。

参考

転送結果レポートの設定をすると、転送終了時にレポートが印刷されます。

☞「その他のファクス機能」 - 「各種レポート、リスト印刷」 22 ページ

転送先を設定する

受信文書の転送先はアドレス帳から選択します。事前にアドレス帳に登録しておいてください。

☞「アドレス帳」 24 ページ

！重要

- ネットワーク上のフォルダーや E メールアドレスに転送するときは、プリンターのネットワーク設定を確認してください。ネットワーク設定の詳細は『ネットワークガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。
- E メールアドレスに転送するときは、必ずメールサーバーの設定もしてください。
☞「メールサーバーの設定」 38 ページ
- プリンターの [日付 / 時刻] 設定が正しく設定されていることを確認してください。

1 ホーム画面からセットアップモードを選択します。

2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [受信ファクスの処理] を選択します。

3 [受信ファクスの処理] 画面で [設定変更] を押します。

4 [その他の設定] を選択して [転送先] を選択します。

アドレス帳の全てのリストが表示されます。

参考

転送先を設定しているときは、転送先のリストが表示されます。

5 転送先を選択して、[確定] を押します。

転送先は 5 件まで設定できます。

チェックボックスをタッチすると選択できます。解除するときは、もう一度タッチします。

[▲] [▼] または画面を上下にフリックすると画面が移動します。

参考

[設定変更] を押すと、転送先を再選択できます。

転送設定をする

1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。

2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] - [受信ファクスの処理] を選択します。

3 [受信ファクスの処理] 画面で [設定変更] を押します。

4 [転送] - [オン] を選択します。

転送と同時に自動で印刷もしたいときは [オン (印刷もする)] を選択します。

転送失敗時の保存先を設定する

1 「転送設定をする」の手順 1 ～ 3 を実施します。

2 [その他の設定] を選択して [転送失敗時の保存先] を選択します。

3 [印刷する] か [受信ボックスに保存する] を選択します。

初期値は [印刷する] です。

!重要

受信ボックスが一杯になるとファクスの送受信ができません。転送失敗文書を速やかに確認し受信ボックスから削除してください。転送失敗文書件数は、ファクスモードアイコンに表示されます (対応機種のみ)。

☞ [受信文書が未処理のときの表示 (対応機種のみ)]
23 ページ

メール転送時の件名を設定する

メール転送は、「メールサーバーの設定」で登録したアドレスで送信するため、転送したファクスだとわかる件名に設定しておくと便利です。

1 「転送設定をする」の手順 1 ～ 3 を実施します。

2 [その他の設定] を選択して [E メール転送時の件名] を選択します。

3 ソフトキーで件名を入力します。

入力方法は、以下をご覧ください。

☞ [文字の入力] 39 ページ

その他のファクス機能

各種レポート、リスト印刷

ファクスに関する各種レポートが印刷できます。また、レポートによっては自動印刷やレポートに画像の一部を添付する設定ができます。

レポートを印刷する

トラブルなどで、レポートが必要なときに印刷します。

- 1 ホーム画面でファクスモードを選択します。
- 2 [メニュー] を押して [レポート印刷] を選択します。
- 3 印刷する項目を選択します。
項目の詳細は以下をご覧ください。
🔗 「メニュー一覧」 - 「ファクスモード」 33 ページ

レポートの印刷設定をする

各種レポートを自動で印刷する設定をします。

■ 通信結果レポート

- 1 ホーム画面でファクスモードを選択します。
- 2 [メニュー] を押して [送信設定] を選択します。
- 3 [通信結果レポート] の設定をします。
[エラー時のみ] を選択すると送信エラー時のみ印刷します。

■ 転送結果と通信管理レポート

- 1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] を選択します。

- 3 [転送結果レポート] または [通信管理レポート自動印刷] を設定します。

項目名	設定値
転送結果レポート	[エラー時のみ] *・[オン]・[オフ]
通信管理レポート自動印刷	[オフ] *・[オン (30 件毎)]・[オン (指定時刻)]

初期値は * で表示しています。

■ レポートの出力形式

- 1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [出力設定] を選択します。
- 3 [結果レポート内画像添付] または [レポート形式] を設定します。

項目名	設定値
結果レポート内画像添付	[添付しない] *・[添付する (画像大)]・[添付する (画像小)]
レポート形式	[簡易情報] *・[詳細情報]

初期値は * で表示しています。

セキュリティ設定をする

ファクスの誤送信や、受信ファクスの紛失や放置による機密漏えいを防ぐためセキュリティを設定します。またバックアップデータの削除方法も選択できます。

- 1 ホーム画面でセットアップモードを選択します。
- 2 [システム管理設定] - [ファクス設定] - [セキュリティ設定] を選択します。
- 3 項目を選択して、設定します。

項目名	説明
直接ダイヤル制限	🔗 「メニュー一覧」 - 「ファクス設定」 34 ページ
宛先一覧確認	
受信ボックスパスワード設定	
バックアップデータ自動消去	
バックアップデータを消去	

ファクスジョブの状況を確認する

[ジョブ確認メニュー] からファクス文書の状況を確認できます。[ジョブ確認メニュー]の詳細は『操作ガイド』(紙マニュアル)または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル)をご覧ください。

実行中のファクスジョブを確認する

印刷前の受信文書や送信前のファクス文書、蓄積文書などを表示します。コンピューターや外部メモリーに保存する前の受信文書も表示されます。

- 1 操作パネルの【ジョブ確認】ボタンを押します。
[ジョブ確認メニュー] 画面が表示されます。



- 2 【ジョブモニター】 - 【通信ジョブリスト】または【印刷ジョブリスト】を選択します。
- 3 確認したいジョブを選択します。
[ジョブ詳細情報] 画面が表示されます。画面に表示されたボタン操作で削除などができます。

ジョブ履歴を確認する

ファクスの送受信が終了した文書は、[受信ジョブリスト]と[送信ジョブリスト]に保存されます。
[送信ジョブリスト]には送信文書は保存されません。宛先や通信結果を送信情報としてリストで表示します。

参考

受信文書は再印刷ができるため【ジョブ履歴】の【受信ジョブリスト】に保存されますが、メモリーが不足すると古い順から自動で削除されます。

- 1 操作パネルの【ジョブ確認】ボタンを押します。
[ジョブ確認メニュー] 画面が表示されます。
- 2 【ジョブ履歴】 - 【受信ジョブリスト】または【送信ジョブリスト】を選択します。
- 3 確認したいジョブを選択します。
[ジョブ詳細情報] 画面が表示されます。画面に表示されたボタン操作で、再印刷などができます。

受信ボックスの文書を確認する

【ジョブ確認】ボタンを押して、[ジョブストレージ] - [受信ボックス]を選択すると、受信ボックスに保存されている文書の一覧が表示されます。ホーム画面から[ファクス] - [受信ボックスを開く]を選択しても見られます。文書の確認や印刷、削除の手順については以下をご覧ください。
☞「受信ボックスに保存する」 - 「文書を確認する (画面で見る)」 18 ページ

受信文書が未処理のときの表示 (対応機種のみ)

未処理の受信文書があると、ホーム画面のファクスモードアイコンに未処理件数が表示されます。11 件以上は [10+] と表示されます。



未処理件数として表示される状態は以下です。
受信文書の処理（印刷や転送など）によって、対処方法が異なるため設定を確認してください。
☞「受信文書の処理方法」 18 ページ

受信文書の処理設定	未処理状態
印刷する *1	印刷待ちまたは印刷中
受信ボックスに保存	受信ボックスに未読あり
外部メモリーに保存	外部メモリーに未保存でプリンターに一時保存中
コンピューターに保存	コンピューターに未保存でプリンターに一時保存中
転送	転送待ち、転送中 転送失敗文書あり *2

*1：保存や転送の処理を設定していないとき、または外部メモリーやコンピューターへの保存と同時に印刷する設定をしているとき。

*2：[受信ボックスに保存する] のときは未読、[印刷する] のときは印刷していない状態

参考

受信文書の処理方法を複数設定すると、1 つの受信文書の未処理件数は重複します。
例) 受信ボックスとコンピューターに保存→両方とも保存できなかったときは未処理件数 2 件

アドレス帳

アドレス帳を使うとファクス番号の入力が簡単にできます。アドレス帳への登録は、発着信履歴や FAX Utility からもできます。

プリンターのアドレス帳に登録する

頻繁に利用する宛先をアドレス帳から呼び出せます。またグループ登録すると複数の宛先に同時に送信できます。

参考

- アドレス帳の登録は、ファクス番号とメールアドレス、保存先フォルダーを合わせて 200 件（または 100 件）まで登録できます。
- セキュリティーとして直接ダイヤルを禁止する機能を使うにはアドレス帳の登録が必要です。
- 外線発信番号を登録していて、外線へのファクス番号を登録するときは電話番号の先頭に「#」を付けて登録してください。
例) #026352XXXX
- メールアドレスを使用するには、アドレス帳登録の他に、メールサーバーの設定が必要です。
☞「メールサーバーの設定」38 ページ

宛先を登録する

- 1 ホーム画面で【アドレス帳】を選択します。
アドレス帳リストが表示されます。
- 2 【メニュー】を押して、【宛先登録】を選択します。
- 3 【ファクス】を選択します。
受信文書の転送先として、E メールアドレスを登録するときは【メール】を、ネットワーク上のフォルダーを登録するときは、【フォルダー】を選択します。
- 4 登録する短縮番号を選択します。
1 ～ 10 に登録するとワンタッチダイヤルから呼び出せます（対応機種のみ）。
- 5 ファクスで必要な情報を登録します。
【登録名】と【よみがな（検索名）】、【ファクス番号】、【ファクス通信モード】を入力します。表示されない項目は画面をスクロールします。
入力方法は、以下をご覧ください。
☞「文字の入力」39 ページ
- 6 【登録】を押します。

グループを登録する

- 1 ホーム画面で【アドレス帳】を選択します。
- 2 【メニュー】を押して、【グループ登録】を選択します。
- 3 【ファクス】を選択します。
メールもグループ登録できます。
- 4 登録する短縮番号を選択します。
- 5 【登録名】と【よみがな（検索名）】を選択して、ソフトキーで入力したら【次へ】を押します。
入力方法は、以下をご覧ください。
☞「文字の入力」39 ページ
- 6 アドレス帳リストが表示されるので、グループにするアドレス帳を全て選択します。
チェックボックスをタッチすると選択できます。解除するときは、もう一度タッチします。
【▲】【▼】または画面を指で上下にフリックすると画面が移動します。



- 7 【登録】を押します。

発着信履歴から登録する

発着信履歴から、アドレス帳への登録ができます。

- 1 ホーム画面でファクスモードを選択します。
- 2 【履歴】を押して、発着信履歴を表示します。

3 登録したい宛先を選択します。

発信履歴のとき

[発信履歴] 画面から登録したい宛先を選択します。

着信履歴のとき

[発信履歴] 画面で [着信履歴] を押して [着信履歴] 画面を表示します。登録したい宛先を選択します。

参考

[着信履歴] はナンバーディスプレイが有効のときのみ表示されます。

4 [履歴情報] 画面で [メニュー] を押します。

5 [アドレス帳に登録] を選択して、短縮番号を選択します。

6 [宛先登録] 画面で [登録名] と [よみがな (検索名)]、[通信モード] を選択します。

[FAX 番号] も編集できます。

入力方法は、以下をご覧ください。

☞「文字の入力」39 ページ

7 [登録] を押します。

FAX Utility から登録する

FAX Utility を使うとコンピュータで管理しているデータ*をプリンターのアドレス帳に登録できます。

*: Windows は、FAX Utility で管理している電話帳やその他のアプリケーションのアドレス帳。Mac OS X は、連絡先やアドレスブックの情報。

アドレス帳の登録方法は FAX Utility のヘルプをご覧ください。

FAX Utility をインストールしていないときは、『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

！重要

不意の故障などに備え、アドレス帳のデータはこまめにバックアップすることをお勧めします。FAX Utility のエクスポート機能を使えば簡単にプリンターのアドレス帳をバックアップできます。

登録内容を編集、削除する

1 ホーム画面でアドレス帳を選択します。 アドレス帳リストが表示されます。

2 編集したいアドレス（グループ）のインフォメーションアイコンを押します。



3 [編集] または [削除] を押します。

この後は画面の指示に従って操作してください。

アドレス帳を印刷する

プリンターに登録したアドレス帳の一覧を印刷できます。

1 ホーム画面で [アドレス帳] を選択します。

参考

各宛先（ファクス、メール、フォルダー）ごと印刷したいときは、[表示切替] で印刷したい宛先を選択してください。

2 [メニュー] - [アドレス帳印刷] を選択して、モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

LDAP サーバーのアドレス帳を利用する（対応機種のみ）

ご利用の LDAP サーバーのアドレス帳をプリンターでも使用できます。

[LDAP 検索] を選択して登録名で検索すると、ファクス番号やメールアドレスのリストが表示されます。使用するには、あらかじめ LDAP サーバーの設定が必要です。詳細は、『システム管理者ガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

参考

LDAP アドレス帳から取得した情報は、プリンターのアドレス帳に登録できます。LDAP アドレス帳から情報を取得してから [登録] を押してください。

困ったときは

ファクス機能診断結果一覧

ファクス機能診断レポートの対処方法は以下をご覧ください。

ファクス機能診断はホーム画面から [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - 「ファクス機能診断」 で実施します。プリンターに管理者の設定をしているときは、管理者のみ実施できます。

診断結果	対処方法
正常です。	ファクスは問題なく送受信できます。
電話回線に正しく接続されていません。	接続方法が間違っています。モジュラーケーブルの接続をやり直してください。 ☞「電話回線を接続」 4 ページ
モジュラーケーブルが EXT. ポートに接続されています。	接続方法が間違っています。モジュラーケーブルの接続をやり直してください。 ☞「電話回線を接続」 4 ページ
ダイヤルトーン検出できませんでした。	回線接続時に回線側からダイヤルトーンが聞こえない、または標準的なダイヤルトーンでないため検出できません。 <ul style="list-style-type: none"> 一般回線以外 (PBX や ADSL、ISDN など) で使用しているときは [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [ファクス基本設定] - [接続回線] で [構内交換機 (PBX)] に設定してください。 [セットアップ] - [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤルトーン検出] を [オフ] に設定してください。ただし、電話番号の最初が抜けるなどで間違った電話番号にダイヤルするおそれがあります。
回線状態が不安定です。	スプリッターなどの装置により信号が弱くなることがあります。 電話回線とプリンターを直接接続して再度機能診断を実施してください。診断結果に問題がないときはスプリッターなどの装置に問題があります。接続装置のマニュアルをご覧ください。エラーが表示されたときは使用している電話回線に問題があります。ご契約の回線業者様に確認してください。
プリンター本体に異常が見つかりました。	エプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ先は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

エラーコード一覧

ジョブ履歴に表示されたエラーコードの対処方法はこちらで確認できます。記載のないエラーコードが表示されているときは『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

対処方法がわからないときは、以下をご覧ください。

☞「困ったときは」 - 「トラブル対処」 28 ページ

コード	状況	対処方法
109	受信文書が削除されたため再印刷できません。	—
201	ファクス送信または受信中にメモリーが一杯になりました。	<ul style="list-style-type: none"> 複数枚の原稿は分割して送信してください。 1 つの宛先にモノクロで送信する場合は、ダイレクト送信を利用すると送信できます。 [ジョブ確認メニュー] の [ジョブモニター] で、印刷されていない受信ファクスを印刷してください。 [ジョブ確認メニュー] の [ジョブストレージ] で、受信ボックスに保存されているデータを削除してください。

コード	状況	対処方法
202	ファクス送信または受信中に、相手のファクス機によって通信が切断されました。	しばらく時間を置いて、再送信するか相手先に確認してください。
203	ダイヤルトーンが検出できません。	セットアップモードの [システム管理設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ダイヤルトーン検出] を [オフ] に設定してください。
204	相手のファクス機が話し中です。	相手先が話し中のため、ファクス送信ができません。 時間を置いてから、再送信してください。
205	相手のファクス機が応答しません。	しばらく時間を置いて、再送信してください。
206	モジュラーケーブルが正しく接続されていません。	プリンターの LINE ポートと EXT. ポートの接続を確認してください。 ☞「電話回線を接続」 4 ページ
207	モジュラーケーブルが正しく接続されていません。	モジュラーケーブルを電話回線に接続してください。 ☞「電話回線を接続」 4 ページ
208	複数の宛先の内、いくつかの宛先にファクス送信できませんでした。	ファクスモードの [レポート印刷] で通信結果レポートを印刷し、送信できなかった宛先を確認してください。 送信失敗文書を保存する設定にしている場合は、[ジョブ確認メニュー] の [ジョブモニター] から再送信できます。
401	外部メモリーの容量が不足しています。	外部メモリーの容量を増やしてください。
402	外部メモリーが書き込み禁止になっています。	外部メモリーの書き込み禁止を解除してください。
404	外部メモリーが取り外されました。	外部メモリーを再度接続してください。
405	受信文書を外部メモリーへ保存中に書き込みエラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> 外部メモリーを接続し直してください。 ファクス用のフォルダーを作成した別の外部メモリーを接続してください。
411/421	サーバー（メール / フォルダー）の DNS 設定エラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> 操作パネルのセットアップモードの [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [DNS サーバー] で、DNS 設定を確認してください。 サーバー、コンピューター、アクセスポイントの DNS 設定を確認してください。
412	メールサーバーの認証エラーが発生しました。	<p>操作パネルのセットアップモードの [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク詳細設定] - [メールサーバー] - [サーバー設定] で、以下の設定を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 認証方式（SMTP サーバーアドレスとポート） 認証方式（POP3 サーバーアドレスとポート） アカウント名 パスワード ☞「メールサーバーの設定」 38 ページ
413	ファクスの転送（メール）で通信エラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク接続を確認してください。詳細は『ネットワークガイド』をご覧ください。 メールサーバーの設定を確認して、メールサーバーの接続診断をしてください。 ☞「メールサーバーの設定」 38 ページ 指定した認証方法とメールサーバーの認証が合っていない可能性があります。[オフ] を選択した場合は、メールサーバーの認証が None（なし）かどうかを確認してください。
422	転送先フォルダーの認証エラーが発生しました。	<p>転送先フォルダーの設定を確認してください。</p> ☞「受信文書の処理方法」 - 「転送する」 20 ページ

コード	状況	対処方法
423	ファクスの転送（フォルダー）で通信エラーが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク接続を確認してください。詳細は『ネットワークガイド』をご覧ください。 転送先の設定を確認してください。 ☞「受信文書の処理方法」 - 「転送する」 20 ページ 転送先フォルダー内の同名ファイルが開いているか、読み取り専用の可能性があります。ファイルを閉じるか、プロパティを確認してください。
425	転送先フォルダーの容量が不足しているため、文書を転送できません。	転送先フォルダーの空き容量を増やしてください。
428	指定した転送先フォルダーが存在しません。	転送先の設定を確認してください。 ☞「受信文書の処理方法」 - 「転送する」 20 ページ

トラブル対処

現象	対処方法
受信も送信もできない	<ul style="list-style-type: none"> ファクス機能診断をしてください。 ☞「困ったときは」 - 「ファクス機能診断結果一覧」 26 ページ ファクスの送受信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。エラーコード一覧から対処方法をお試しください。 ☞「困ったときは」 - 「エラーコード一覧」 26 ページ 接続回線の設定を確認してください。[構内交換機 (PBX)] に設定すると通信できることがあります。また外線発信番号が必要な環境では外線発信番号を設定するか電話番号の先頭に外線発信番号を入れてください。 ☞「メニュー一覧」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 36 ページ 通信モードを [9.6kbps (G3)] にしてください。 ☞「メニュー一覧」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 36 ページ 電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してください。正常に動作しないときはご契約の回線業者様に確認してください。 構内交換機 (PBX) タイプの ISDN 回線専用環境で使用するときは、ご契約の回線業者様に確認してください。 電話回線の接続でブロードバンドルーターやターミナルアダプターなどを使用しているときは、電源を入れ直してください。 <p>上記の対応をしても改善しないときは、お手元に通信管理レポートを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ先は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 ☞「その他のファクス機能」 - 「各種レポート、リスト印刷」 22 ページ</p>

現象	対処方法
送信できない	<ul style="list-style-type: none"> ファクス機能診断をしてください。 ☞「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」26 ページ ファクスの送信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。エラーコード一覧から対処方法をお試ください。 ☞「困ったときは」-「エラーコード一覧」26 ページ ダイヤル種別の設定を確認してください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ 接続回線の設定を確認してください。[構内交換機 (PBX)] に設定すると通信できることがあります。また外線発信番号が必要な環境では外線発信番号を設定するか電話番号の先頭に外線発信番号を入れてください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ 通信モードを [9.6kbps (G3)] にしてください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ ダイヤルトーン検出を [オフ] に設定してください。ただし、電話番号の最初が抜けるなどで間違った電話番号にダイヤルするおそれがあります。 送信先によっては発信元番号が登録されていないと受け付けないことがあります。発信元番号を登録してください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ 電話番号を非通知設定にしているときは、宛先番号の先頭に 186 を付けて発信してみてください。 送付先の電話番号が正しいか確認してください。 送信先のファクスが受信できる状態か、送信先に確認してください。 <p>上記の対応をしても改善しないときは、お手元に通信管理レポートを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ先は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。</p> <p>レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 ☞「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」22 ページ</p>
メモリー不足のメッセージが表示された	<ul style="list-style-type: none"> 受信文書を保存している場合 <ul style="list-style-type: none"> - 受信ボックス： 不要になった文書（既読など）を受信ボックスから削除してください。 - コンピューター： 保存先のコンピューターを起動してください。 - 外部メモリー： 保存専用フォルダーを作成した外部メモリーをプリンターに接続してください。メディアの空き容量が不足していないか、書き込み禁止になっていないか確認してください。 <p>保存できなかった文書はプリンターの [ジョブ確認メニュー] - [ジョブモニター] で確認できます。 ☞「ファクスジョブの状況を確認する」23 ページ</p> 受信文書を印刷している場合 <p>紙詰まりなどのプリンターエラーが発生すると印刷できません。エラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。</p> <p>エラーの内容と対処方法は、【ジョブ確認】を押して【プリンター情報】を選択すると確認できます。</p> モノクロ文書を送信している場合 <p>送信設定で [ダイレクト送信] を [オン] に設定するか、または原稿を小分けに送信してください。 ☞「大量ページのモノクロ原稿を送信する（ダイレクト送信）」13 ページ</p>

現象	対処方法
特定の送信先にファクス送信できない (毎回エラーが表示される)	<ul style="list-style-type: none"> ファクスの送信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。 エラーコード一覧から対処方法をお試しください。 ☞「困ったときは」-「エラーコード一覧」26 ページ ダイヤル終了後 50 秒間は送信先の応答を待ちますが、応答までに 50 秒以上かかるとエラーになります。手動ダイヤルでファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。 ☞「ファクス送信の基本操作」-「外付け電話機からダイヤルする（手動送信）」9 ページ 50 秒以上かかる場合は、電話番号 + [ポーズ] を入力して送信してください。 ポーズ 1 回につき、約 3 秒間ファクス送信が遅延されますので、必要に応じて [ポーズ] を増やしてください。 通信モードを [9.6kbps (G3)] にしてください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ 手動送信やオンフックダイヤルなどで送付先のファクス信号を確認してから送信してください。 アドレス帳から送付先を入力しているときは、登録内容を確認してください。 間違っているときは修正してください。詳細は以下をご覧ください。 ☞「アドレス帳」24 ページ <p>上記の対応をしても改善しないときは、お手元にファクス送信直後のプロトコルログを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ先は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 ☞「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」22 ページ</p>
特定の送信元からの受信文書が届かない (毎回エラーが表示される)	<p>通信モードを [9.6kbps (G3)] にしてください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ</p> <p>上記の対応をしても改善しないときは、お手元にファクス受信直後のプロトコルログを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ先は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 ☞「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」22 ページ</p>
指定時刻に送信できない	<ul style="list-style-type: none"> 時刻指定送信は、日付と時刻が設定されていないとできません。プリンターに日付と時刻を設定してください。 プリンターの日時がずれていると、指定した時刻に送信できません。プリンターの日時を確認してください。[セットアップ] - [システム管理設定] - [共通設定] - [日付 / 時刻設定] で、日時確認と変更ができます。
きれいに送信できない	<ul style="list-style-type: none"> 原稿台と ADF の汚れを取り除いてください。詳細は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 [送信設定] の [画質] を調整してください。また、文字と写真が混在した原稿は [フォト] の設定で送信してください。 ☞「ファクス送信の基本操作」-「プリンターから直接ダイヤルする」8 ページ [送信設定] の [濃度] を調整してください。 ☞「ファクス送信の基本操作」-「プリンターから直接ダイヤルする」8 ページ 受信機の能力がわからないときは、ダイレクト送信するか [精細] で送信してください。[超高精細] や [高精細] でメモリー送信すると低い解像度に変更して送信することがあります。

現象	対処方法
A3 ファクスを送信できない (A3 対応機のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 送信先のファクスが A3 に対応しているか、送信先に確認してください。 原稿台からファクスを送信するには原稿サイズの設定が必要です。 ☞「ファクス送信の基本操作」-「プリンターから直接ダイヤルする」8 ページ 通信管理レポートに「縮小」と表示されていたら相手側は A3 機には対応していません。
受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ファクス機能診断をしてください。 ☞「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」26 ページ ファクスの受信ができなかったジョブのエラーコードを確認してください。エラーコード一覧から対処方法をお試しください。 ☞「困ったときは」-「エラーコード一覧」26 ページ 通信モードを「9.6kbps (G3)」にしてください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ 接続回線の設定を確認してください。[構内交換機 (PBX)] に設定すると通信できることがあります。ご利用の回線が内線呼び出し (SIR) になっている場合は、外線呼び出し (IR) に設定すると解決することがあります。回線業者様に確認してください。 プリンターの電源と電話回線の接続を確認してください。 外付け電話機を使用するときは、[ファクス / 電話自動切替] に設定してください。 ボイスワープなどの電話転送サービスを利用しているときは受信できないことがあります。サービスを提供している電話会社様にお問い合わせください。 呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「受信設定」35 ページ 以下の状態ではプリンターのメモリー不足のため受信できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 受信ボックスに受信文書が 100 件たまっている - プリンターのメモリー使用率が 100%になっている 対処方法は以下をご覧ください。 ☞「トラブル対処」-「メモリー不足のメッセージが表示された」29 ページ ダイヤルインやモデムダイヤルイン機能は対応していません。該当する場合は、回線業者様に確認してください。 F ネット (1300Hz 呼び出し) は対応しておりません。該当する場合は、回線業者様に確認してください。 接続されている電話回線が不安定な場合、ファクス送信されていないのに着信中表示が続くことがあります。ご契約の回線業者様に確認してください。 <p>上記の対応をしても改善しないときは、お手元に通信管理レポートを印刷してからエプソンのインフォメーションセンターに問い合わせてください。問い合わせ先は『操作ガイド』(紙マニュアル) または『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) をご覧ください。 レポートの印刷方法は以下をご覧ください。 ☞「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」22 ページ</p>
きれいに受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ファクス回線設定の [エラー訂正 (ECM)] を [オン] にしてください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ 送信元に「原稿に汚れがないか」「画質の高いモードで送信できないか」確認してください。 受信文書を印刷し直してください。[ジョブ確認メニュー] の [ジョブ履歴] から印刷できます。 ☞「その他のファクス機能」-「ファクスジョブの状況を確認する」23 ページ
A3 ファクスを受信できない (A3 対応機のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 送信元のファクスが A3 に対応しているか、送信元に確認してください。 給紙装置設定で用紙カセットに A3 が設定されているか、また A3 用紙の入っている給紙装置をファクスで使う設定になっているか確認してください。 ☞「プリンターの設定」-「給紙装置を設定する (対応機種のみ)」7 ページ

現象	対処方法
受信ファクスを印刷しない	<ul style="list-style-type: none"> 紙詰まりやインクカートリッジの交換が必要なときなどプリンターのエラーが発生していると印刷できません。プリンターの状態を確認してください。対処方法は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 受信ボックスに保存する設定になっている、または転送や外部メモリーに保存だけする設定にすると印刷はしません。設定を確認してください。 ☞「受信文書の処理方法」18 ページ
通信結果レポートが印刷された	<ul style="list-style-type: none"> 再送信してください。送信失敗文書を保存する設定にしていると「ジョブ確認メニュー」から送信できます。 ☞「ファクス送信の基本操作」-「プリンターから直接ダイヤルする」8 ページ
外付け電話機が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ファクス機能診断をしてください。 ☞「困ったときは」-「ファクス機能診断結果一覧」26 ページ 本製品の EXT. ポートに外付け電話機を接続し、受話器を上げて「ツー音」が聞こえるかを確認してください。「ツー音」が聞こえれば電話機に問題はありません。「ツー音」が聞こえないときは、モジュラーケーブルの接続（接続ポートの向き）が正しいか確認してください。 ☞「電話回線を接続」-「電話回線とプリンターの接続方法」4 ページ 留守番機能付き電話機を外付け電話機に使用しているときは、自動受信するまでの呼び出し回数は留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。 ☞「ファクス受信の方法」-「使い方から受信方法を選択する」15 ページ
ナンバーディスプレイが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ契約した回線が必要です。ご契約の回線業者様に確認してください。 ナンバーディスプレイ設定を確認します。[オン] または [外付け電話機優先] に設定してください。 ☞「メニュー一覧」-「ファクス設定」-「基本設定」36 ページ 接続を確認してください。ブランチ接続していると使用できません。
外部メモリーに受信データを転送できない	<ul style="list-style-type: none"> 外部メモリーをファクスで使えるよう設定してください。 ☞「受信文書の処理方法」-「保存する」18 ページ 外部メモリーが書き込み禁止の場合は解除してください。 外部メモリーの残量を確認してください。残量が少ないと保存できません。 外部メモリーが無効の設定になっている場合は、外部メモリーをセットしても認識されません。有効にするには [セットアップ] - [システム管理設定] - [プリンター設定] - [外部メモリー設定] で [有効] に設定してください。プリンターに管理者設定しているときは、管理者にお問い合わせください。
パスワードを忘れた	受信ボックス、管理者のパスワードを忘れたときは、エプソンのインフォメーションセンターにお問い合わせください。問い合わせ先は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。
原稿サイズが正しく送られていない	A3 対応機は光源の近くや直射日光の当たる場所に設置すると、原稿台に光が当たり、意図した範囲で原稿が読み取れないことがあります。原稿サイズを設定してから再度実行してください。
受信文書に相手先の電話番号が表示されない、または電話番号が間違っ表示される	送信元のファクス機に発信元番号が設定されていないか、登録が間違っている可能性があります。送信元に確認してください。
受信文書をメールアドレスに転送できない	<ul style="list-style-type: none"> メールアドレスを正しく入力してください。 ☞「アドレス帳」24 ページ メールサーバーの設定をしないと、メールの送信や転送はできません。メールサーバーの設定をしてください。 ☞「メールサーバーの設定」38 ページ スキャンモードでメール送信ができるか確認してください。スキャンの操作は『操作ガイド』（紙マニュアル）または『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）を確認してください。

メニュー一覧

ファクスモード

ホーム画面からファクスモードを選択し、[メニュー] を押して項目にタッチして設定します。



項目名	説明																							
送信設定	<p>ファクス送信するときに設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>画質</td><td> <p>文書と写真が混在した原稿では「写真」をお勧めします。原稿の内容や画質によって送信時間は異なります。</p> <table border="1"> <tr> <td>普通</td><td rowspan="4">速度優先 ↑↓ 画質優先</td></tr> <tr> <td>精細</td></tr> <tr> <td>高精細</td></tr> <tr> <td>超高精細</td></tr> <tr> <td>写真</td><td></td></tr> </table> </td></tr> <tr> <td>濃度</td><td> <p>－（マイナス）で薄く、＋（プラス）で濃くなります。 [自動] にすると原稿に合わせて濃度を設定します。</p> </td></tr> <tr> <td>原稿サイズ（原稿台）</td><td> <p>原稿台にセットした原稿のサイズと方向を選択します。</p> </td></tr> <tr> <td>ADF 自動両面</td><td> <p>モノクロ両面原稿を ADF にセットして、両面で送るときに設定します。</p> </td></tr> <tr> <td>ダイレクト送信</td><td> <p>ファクス原稿を読み込みながら、宛先に送信します。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「大量ページのモノクロ原稿を送信する（ダイレクト送信）」 13 ページ</p> </td></tr> <tr> <td>優先送信</td><td> <p>操作中のファクスを予約されたファクスより優先して送信したいときに選択します。 初期値は「オフ」です。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「優先してファクスを送信する（優先送信）」 13 ページ</p> </td></tr> <tr> <td>ADF 原稿追加</td><td> <p>用紙サイズの違う原稿や大量ファクスで原稿を追加するときに設定します。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「異なるサイズの原稿を ADF から送信する」 13 ページ</p> </td></tr> <tr> <td>通信結果レポート</td><td> <p>通信結果レポートの印刷設定をします。 ☞ 「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」 22 ページ</p> </td></tr> </table>	画質	<p>文書と写真が混在した原稿では「写真」をお勧めします。原稿の内容や画質によって送信時間は異なります。</p> <table border="1"> <tr> <td>普通</td><td rowspan="4">速度優先 ↑↓ 画質優先</td></tr> <tr> <td>精細</td></tr> <tr> <td>高精細</td></tr> <tr> <td>超高精細</td></tr> <tr> <td>写真</td><td></td></tr> </table>	普通	速度優先 ↑↓ 画質優先	精細	高精細	超高精細	写真		濃度	<p>－（マイナス）で薄く、＋（プラス）で濃くなります。 [自動] にすると原稿に合わせて濃度を設定します。</p>	原稿サイズ（原稿台）	<p>原稿台にセットした原稿のサイズと方向を選択します。</p>	ADF 自動両面	<p>モノクロ両面原稿を ADF にセットして、両面で送るときに設定します。</p>	ダイレクト送信	<p>ファクス原稿を読み込みながら、宛先に送信します。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「大量ページのモノクロ原稿を送信する（ダイレクト送信）」 13 ページ</p>	優先送信	<p>操作中のファクスを予約されたファクスより優先して送信したいときに選択します。 初期値は「オフ」です。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「優先してファクスを送信する（優先送信）」 13 ページ</p>	ADF 原稿追加	<p>用紙サイズの違う原稿や大量ファクスで原稿を追加するときに設定します。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「異なるサイズの原稿を ADF から送信する」 13 ページ</p>	通信結果レポート	<p>通信結果レポートの印刷設定をします。 ☞ 「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」 22 ページ</p>
画質	<p>文書と写真が混在した原稿では「写真」をお勧めします。原稿の内容や画質によって送信時間は異なります。</p> <table border="1"> <tr> <td>普通</td><td rowspan="4">速度優先 ↑↓ 画質優先</td></tr> <tr> <td>精細</td></tr> <tr> <td>高精細</td></tr> <tr> <td>超高精細</td></tr> <tr> <td>写真</td><td></td></tr> </table>	普通	速度優先 ↑↓ 画質優先	精細		高精細	超高精細	写真																
普通	速度優先 ↑↓ 画質優先																							
精細																								
高精細																								
超高精細																								
写真																								
濃度	<p>－（マイナス）で薄く、＋（プラス）で濃くなります。 [自動] にすると原稿に合わせて濃度を設定します。</p>																							
原稿サイズ（原稿台）	<p>原稿台にセットした原稿のサイズと方向を選択します。</p>																							
ADF 自動両面	<p>モノクロ両面原稿を ADF にセットして、両面で送るときに設定します。</p>																							
ダイレクト送信	<p>ファクス原稿を読み込みながら、宛先に送信します。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「大量ページのモノクロ原稿を送信する（ダイレクト送信）」 13 ページ</p>																							
優先送信	<p>操作中のファクスを予約されたファクスより優先して送信したいときに選択します。 初期値は「オフ」です。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「優先してファクスを送信する（優先送信）」 13 ページ</p>																							
ADF 原稿追加	<p>用紙サイズの違う原稿や大量ファクスで原稿を追加するときに設定します。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「異なるサイズの原稿を ADF から送信する」 13 ページ</p>																							
通信結果レポート	<p>通信結果レポートの印刷設定をします。 ☞ 「その他のファクス機能」-「各種レポート、リスト印刷」 22 ページ</p>																							
時刻指定送信	<p>時刻を指定して送信します（モノクロのみ）。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「指定した時刻に送信する」 11 ページ</p>																							
ポーリング受信	<p>相手先に蓄積されたファクス文書が受信できます。 ☞ 「いろいろな受信方法」-「ポーリング受信する」 17 ページ</p>																							
ポーリング送信	<p>相手からのポーリング要求の送信文書を蓄積します（モノクロのみ）。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「受信相手の操作で送信する（ポーリング送信）」 12 ページ</p>																							
待機文書蓄積	<p>原稿を読み取って蓄積しておき、後から宛先を入力して送信できます（モノクロのみ）。 ☞ 「いろいろな送信方法」-「宛先を指定しないで送信文書を蓄積する」 11 ページ</p>																							

項目名	説明	
レポート印刷	ファクス機能設定リスト	ファクス設定の設定値を印刷します。
	通信管理レポート	送受信結果の一覧を印刷または表示します。
	通信結果レポート	最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。
	蓄積文書リスト	未完了ジョブ（送受信）などメモリーに蓄積されている文書のリストを印刷します。
	プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

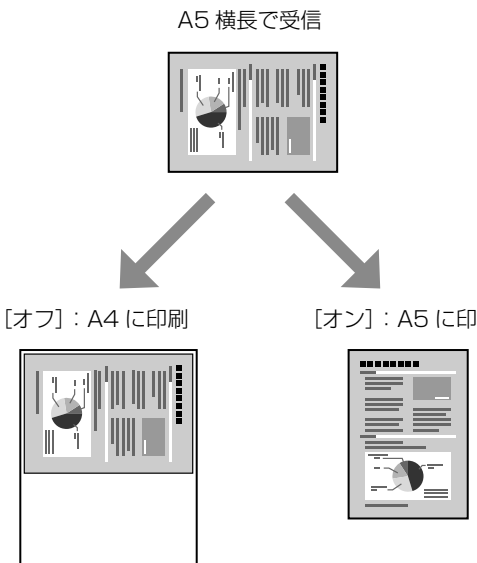
ファクス設定

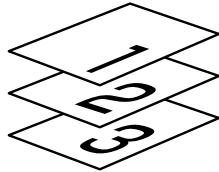
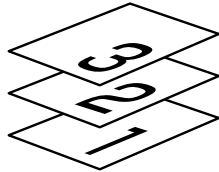
ホーム画面からセットアップモードを選択し、[システム管理設定] - [ファクス設定] から項目を選択します。ファクス全般の設定ができます。

プリンターに管理者の設定をしているときは、管理者のみ設定ができます。



項目名	説明	
ユーザーデフォルト設定	ファクス送信時に設定するファクスメニュー項目のユーザーデフォルト値を設定します。各項目の説明は以下をご覧ください。 ☞「メニュー一覧」 - 「ファクスモード」 33 ページ	
	画質	初期値は [精細] です。
	濃度	初期値は [自動] です。
	原稿サイズ（原稿台）	初期値は [A4（横）] です。
	ADF 自動両面	初期値は [オフ] です。
	ダイレクト送信	初期値は [オフ] です。
	ADF 追加原稿	初期値は [オフ] です。
	通信結果レポート	初期値は [エラー時のみ] です。
送信設定	ファクス送信するときのファクスの動作を設定します。	
	回転送信（A3 対応機のみ）	A4 縦置き原稿を A4 原稿として送信します。初期値は [オン] です。 ☞「いろいろな送信方法」 - 「A4 縦置き原稿を回転送信する（回転送信）（A3 サイズ対応機種のみ）」 12 ページ
	バッチ送信	同じ宛先のファクスをまとめて送信するかどうかを設定します。初期値は [オフ] です。 ☞「いろいろな送信方法」 - 「同じ宛先の送信文書をまとめて送信する（バッチ送信）」 12 ページ
	送信失敗文書保存	送信失敗した文書をメモリーに保存します。[ジョブ確認メニュー] から再送信することができます。初期値は [オフ] です。
	自動リダイヤル回数	相手先にファクスが送れないときのリダイヤル回数とリダイヤルする間隔を選択します。初期値はリダイヤル回数 [3]、リダイヤル間隔（分） [5] です。
	自動リダイヤル間隔	

項目名	説明	
送信設定（つづき）	発信元情報の付加	<p>発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置を設定します。</p> <p>〔画像の外側〕は、先端の余白に発信元情報を入れて送信します。送信文書のサイズによっては、受信側で 2 ページ目が印刷されることがあります。</p> <p>〔画像の内側〕は、スキャンした画像の先頭部（上から約 7mm）に発信元情報を入れて送信します。そのため、この部分の画像は欠落しますが、受信側での印刷を 1 ページに収めることができます。</p> <p>〔しない〕は発信元情報を入れずに送信します。</p> <p>初期値は〔画像の外側〕です。</p>
受信設定	ファクスを受信するときのファクスの動作を設定します。	
	受信モード	<p>受信モードを設定します。</p> <p>☞「ファクス受信の方法」14 ページ</p>
	呼び出し回数	<p>着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。初期値は〔5〕です。</p> <p>☞「ファクス受信の方法」14 ページ</p>
	電話呼び出し回数	<p>〔ファクス / 電話自動切替〕設定時に、外付け電話機の着信時の呼び出し回数を選択します。初期値は〔8〕です。</p> <p>☞「ファクス受信の方法」-「使い方から受信方法を選択する」15 ページ</p>
	リモート受信	<p>外付け電話機の操作だけで、ファクス受信できるように設定します。初期値は〔オフ〕です。</p> <p>☞「いろいろな受信方法」-「外付け電話機だけで受信する（リモート受信）」17 ページ</p>
出力設定	受信ファクスの出力設定をします。	
	受信ファクスの処理	<p>受信したファクスの処理方法を確認します。印刷しないで受信ボックスや外部メモリーなどに保存するときや転送するときに設定を変更します。初期は印刷する設定です。</p> <p>☞「受信文書の処理方法」18 ページ</p>
	自動縮小印刷	<p>受信文書のサイズが用紙サイズより大きいときに、縮小印刷するかどうか設定します。データによっては縮小できないことがあります。〔オフ〕にすると次ページに印刷したり 2 枚目が白紙になるとことがあります。初期値は〔オン〕です。</p>
	自動回転印刷	<p>給紙装置設定が〔A3〕と〔A4〕、〔B4〕と〔B5〕、〔A4〕と〔A5〕に設定されているときに、A5 または B5/A4（対応機種のみ）の文書を受信すると、自動で回転させて最適なサイズの用紙に印刷します。初期値は〔オン〕です。</p> <p>例)</p> <div style="text-align: center;"> <p>A5 横長で受信</p>  <p>〔オフ〕：A4 に印刷 〔オン〕：A5 に印刷</p> </div>

項目名	説明	
出力設定（つづき）	正順出力	<p>複数ページの受信文書を正順で出力するように設定します。メモリーの空き容量が少ないときは正順出力されないことがあります。初期値は「オン」です。</p> <p>「オン」「オフ」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
	印刷開始タイミング	<p>受信文書の印刷を開始するタイミングを設定します。</p> <p>「全ページ受信後」は全てのページを受信後、1 ページ目から印刷を開始します。ただし、「正順出力」有効時は最終ページから印刷します。</p> <p>「最初のページ受信後」は1 ページ目を受信後、印刷を開始します。コピー中などで印刷できないときは、印刷可能な時点でまとめて印刷します。</p> <p>初期値は「全ページ受信後」です。</p>
	印刷停止時間の設定	<p>夜間などの不在時に機密文書を印刷したくない場合にご利用ください。ファクス受信文書の印刷を一時的に停止します。プリンターのデータランプが点灯していたら「ジョブ確認メニュー」を確認してください。「オン」を設定したときは「再開する時刻」と「停止する時刻」を入力してください。受信文書がメモリーに蓄積されるため、メモリーの空き容量にご注意ください。初期値は「オフ」です。</p>
	転送結果レポート	<p>転送結果レポートを出すか出さないか設定します。「エラー時のみ」を選択すると、受信文書を転送するときにエラーになったときに印刷します。初期値は「エラー時のみ」です。</p>
	結果レポート内画像添付	<p>通信結果レポートに、送信文書の画像を添付するかどうか設定します。「添付する（画像大）」は1 ページ目の先頭部分を、大きな画像で添付します。「添付する（画像小）」は1 ページ目全体を縮小して添付します。初期値は「添付しない」です。</p>
	通信管理レポート自動印刷	<p>通信管理レポートの印刷を指定します。「オン（30 件毎）」はレポートが30 件たまると印刷します。「オン（指定時刻）」は指定した時刻に印刷しますが、履歴が30 件を超えると指定時刻前に印刷します。初期値は「オフ」です。</p>
	レポート形式	<p>通信管理レポート、通信結果レポートの表示形式の設定をします。「詳細情報」にするとエラーコードが表示されます。「簡易情報」では「通信エラー」とだけ表示されます。初期値は「簡易情報」です。</p>
基本設定	ファクスの送受信に必要な設定です。	
	通信モード	<p>通信開始速度を設定します。初期値は「14.4kbps(G3)」です。</p> <p>通信エラーが頻繁に起きるときや、海外または IP 電話環境で通信するときは「9.6kbps (G3)」に設定することをお勧めします。</p>
	エラー訂正（ECM）	<p>回線トラブルによりデータ抜けなどが発生したときに自動で回復する機能（ECM）を有効にします。初期値は「オン」です。ECM 機能のあるファクス間の通信のみ有効です。「オフ」に設定したときはカラーファクスの送受信ができません。</p>
	ダイヤルトーン検出	<p>ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうか設定します。初期値は「オン」です。構内交換機（PBX）や IP 電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。接続回線を「構内交換機（PBX）」にしても接続できないときは「オフ」を試してください。ただし、「オフ」にすると電話番号の先頭番号が抜けて誤った番号にダイヤルされる可能性があります。</p>
	ダイヤル種別	<p>電話回線のダイヤル種別を設定します。初期値は「ブッシュ」です。</p> <p>ご使用の回線種別の確認方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ダイヤル時に受話器から聞こえる音（「ピッポッパ」はブッシュ回線、「カタカタカタ」はダイヤル回線）。 わからないときは「ブッシュ」→「ダイヤル（20pps）」→「ダイヤル（10pps）」の順に設定を変えて確認。

項目名	説明	
基本設定（つづき）	ナンバーディスプレイ対応	ご使用の回線がナンバーディスプレイサービスに契約していて、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示したいときに設定します。初期値は【オフ】です。 ナンバーディスプレイの設定は以下をご覧ください。 ☞「ファクス受信の方法」 - 「使い方から受信方法を選択する」15 ページ
	接続回線	ご使用の回線を選択します。初期値は【一般回線（PSTN）】です。 内線電話や ADSL モデム、ターミナルアダプターなどをご使用の環境では【構内交換機（PBX）】に設定します。 また外線への発信時に【0 ポーズ】などを入れてダイヤルしているときは【外線発信番号】に登録することもできます。 例）登録：外線発信番号【01】を登録 ダイヤル：# 026352XXXX ダイヤル処理：# を 01 に自動で置き換えて 01026352XXXX にダイヤル
	発信元設定	発信元名（会社名または自分の名前など）と発信元番号（接続した回線の電話番号）を登録します。文字の入力方法は、以下をご覧ください。 ☞「文字の入力」39 ページ
セキュリティ設定	ファクスの誤送信や受信ファクスの紛失や漏えいを防ぐ設定をします。	
	直接ダイヤル制限	直接ダイヤルの入力を制限します。【オン】に設定すると【アドレス帳】かワンタッチダイヤル（対応機種のみ）、または【履歴】からしか入力できません。【2 回入力】は確認のため直接ダイヤルの再入力が必要となります。初期値は【オフ】です。
	宛先一覧確認	送信前に宛先を確認するかどうかを設定します。【オン】に設定すると送信前に宛先確認の画面が表示されます。初期値は【オフ】です。
	受信ボックスパスワード設定	受信ボックスにパスワードを設定します。 【変更】でパスワードを設定します。【初期化】で設定したパスワードを削除できます。ただし、初期化するときもパスワードの入力が必要です。
	バックアップデータ自動消去	メモリーに蓄積された送受信文書は不要になった時点（送信や印刷、保存など）で自動削除されますが、実際にはすぐには消されずにメモリー内に残ります。この設定をすると削除と同時にメモリーから完全に消去します。 【バックアップデータ自動消去】は自動でメモリーから完全消去します。初期値は【オフ】です。 【バックアップデータを消去】は手動でメモリーから完全に消去します。プリンターを譲渡したり廃棄するときにご使用ください。
	バックアップデータを消去	
ファクス機能診断	電話回線との接続状態などを A4 サイズの普通紙に印刷します。詳細は以下をご覧ください。 ☞「困ったときは」 - 「ファクス機能診断結果一覧」26 ページ	
ファクス設定ウィザード	ファクスの送受信に必要な設定を画面に従って設定します。詳細は以下をご覧ください。 ☞「プリンターの設定」 - 「【ファクス設定ウィザード】で設定する」6 ページ	

メールサーバーの設定

利用者がメール送受信に使用しているメールサーバーの情報をプリンターに設定します。コンピューターのメール設定時に使ったサーバー情報（プロバイダーからの情報文書など）をご用意ください。また、インターネットメール（フリーメール）をご利用の場合は、メールサーバー情報を検索するなど、情報を事前に入手してください。

！重要

ご利用のメールサーバーが採用している認証方法はプロバイダーなどの情報提供先に確認してください。プリンターから接続が可能なメールサーバーの認証方法は以下の通りです。

認証方法 *	NONE（なし）、SMTP（SMTPAuth）、POP Before SMTP
--------	---

*：機種によってはSSL/STARTTLSに対応していません。

また、上記の方法であってもセキュリティが強化されているメールサーバー（SSL通信が必須など）では通信ができない場合があります。最新情報はエプソンのホームページ「よくある質問（FAQ）」をご覧ください。

☞ <http://www.epson.jp/faq/>

参考

プリンターに管理者設定をしているときは、管理者（権限を持つ方）が設定してください（対象機種のみ）。

1 プリンターをネットワークに接続して または が点灯していることを確認します。

点灯していない場合は、プリンターのネットワーク設定をしてください。詳しくは『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

2 ホーム画面で【セットアップ】を選択します。

3 【システム管理設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ネットワーク詳細設定】を選択します。

4 【ネットワーク詳細設定】画面で【メールサーバー】 - 【サーバー設定】を選択します。

5 認証方法を選択します。

ご利用のメールサーバーの認証方法に合わせて選択してください。

6 メールサーバーの設定をします。

認証方法によって設定する項目は変わります。ご利用のメールサーバーの情報を入力してください。

項目名	説明
認証方法	選択した認証方法が表示されます。
認証アカウント	メールサーバーに登録されているユーザー名（メールアドレス）を30文字以内で入力します。
認証パスワード	認証アカウントのパスワードを20文字以内で入力します。
送信元アドレス	プリンターから送信されるメールアドレスです。既存のメールアドレスでも可能ですが、プリンターからのメール受信と分かるようにしたい場合は、プリンター用のメールアドレスを取得して指定してください。
SMTP サーバーアドレス *	ご利用のメール送信（SMTP）サーバーの情報を入力します。
SMTP サーバーポート番号 *	メール送信（SMTP）サーバーのポート番号を入力します。
POP3 サーバーアドレス	POP Before SMTP 認証を選択したときに設定します。メール受信（POP3）サーバーの情報を入力します。
POP3 サーバーポート番号	メール受信（POP3）サーバーのポート番号を入力します。
セキュア接続	SSL/STARTTLS 方式のときは、設定してください（対応機種のみ）。

*：必ず入力してください。

7 【設定開始】を押します。

8 確認メッセージが表示されたら【終了】を押します。

9 【メールサーバー】画面で【コネクションテスト】を選択します。

10 接続されているメッセージが表示されたら【確認】を押します。

参考

- コネクションテストでエラーが表示される場合は、メールサーバー設定が正しいか確認してください。
- コネクションテストは成功するがメール送信ができない場合、ご利用のメールサーバーの認証方法を再度確認してください。

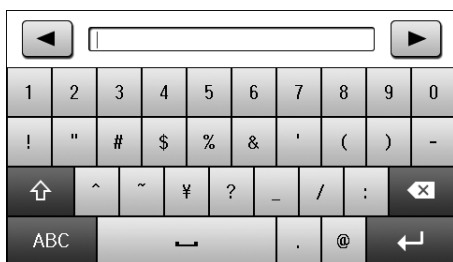
以上で終了です。

文字の入力

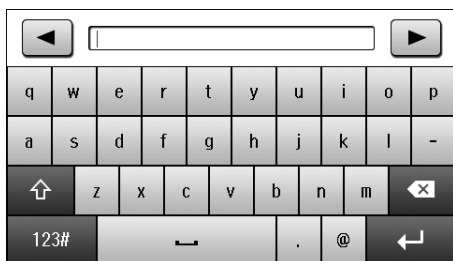
アドレス帳などでの文字や記号の入力は、入力専用画面で行います。

設定する項目によって表示される画面は異なります。

数字・記号入力（数字のみ表示もあります）




アルファベット（アルファベットテンキー表示もあります）



ひらがな・カタカナ・漢字

入力例) え→[あ]を4回押す

っ→[た]を3回押してから[]を押す



		スペースを入力
		左側に1文字ずつ削除
		文字種を切替
		
		文字の確定、入力画面の確定
		漢字、カナ変換
		確定前文字の大文字 / 小文字切替 ひらがなの濁点
		ポーズを入力します。

漢字、カタカナ変換方法

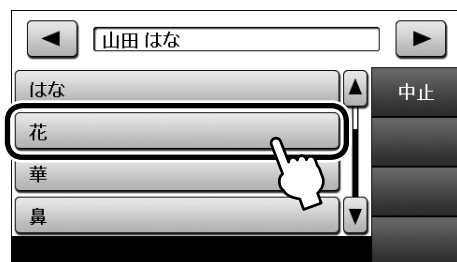
入力例) 山田 はな→山田 花に変換

1 「はな」と入力して[変換]を押します。



2 変換リストから[花]を選択します。

[▲][▼]または画面を指で上下にフリックすると画面が移動します。変換したい文字が出ないときは[中止]してから単語にして変換をしてください。



変更されました。



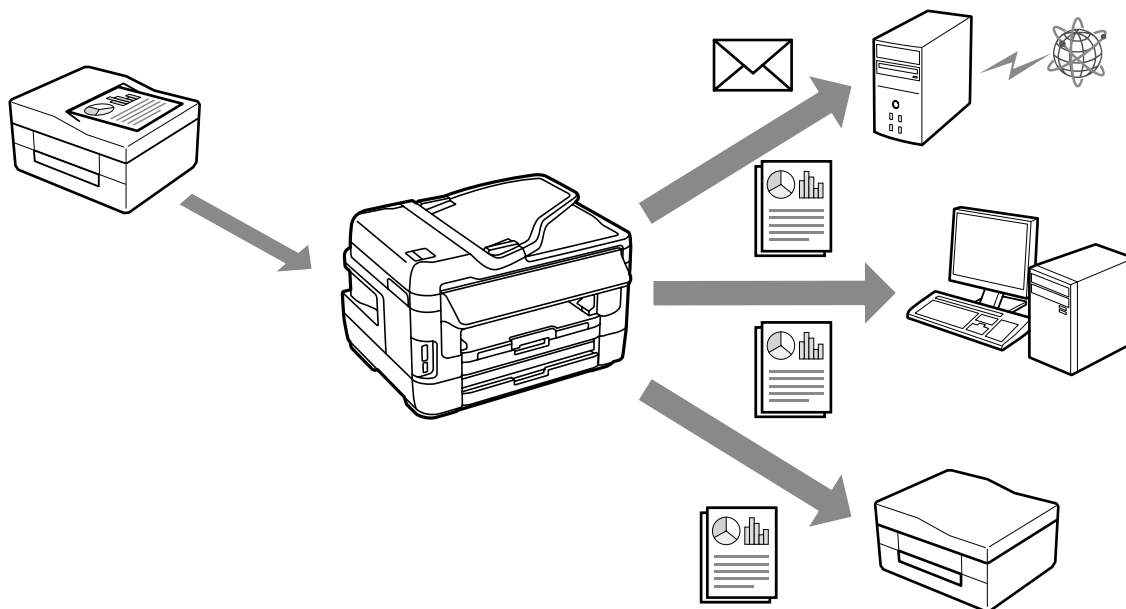
以上で終了です。

こんなことができます

受信したファクスを転送する

受信したファクスをメールに添付して転送したり、ネットワークサーバーの共有フォルダーや他のファクス機、指定したコンピューターに転送できます。

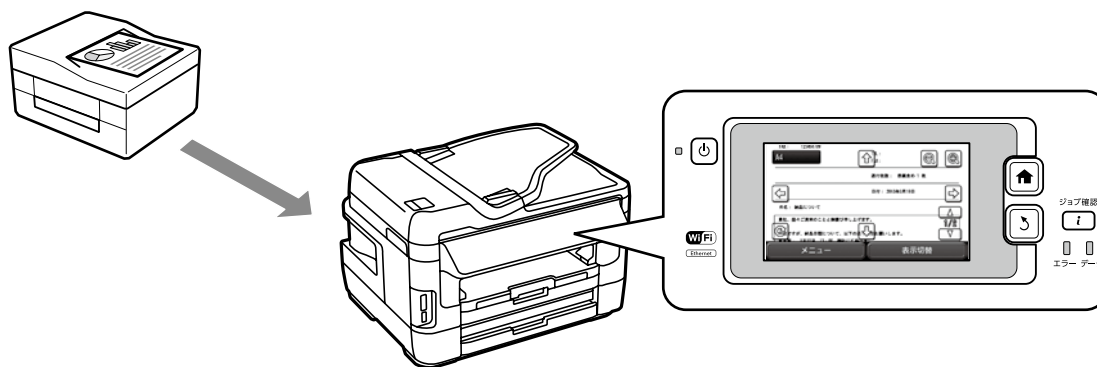
転送は印刷と組み合わせたり、「メールとフォルダー」などの組み合わせもできます。



受信したファクスを画面で確認する

受信したファクスを画面で確認してから印刷できます。

印刷したいファクスのみ印刷するため、印刷用紙やインクの使用量を削減できます。



413087700

©2015 Seiko Epson Corporation. All rights reserved.
2015 年 9 月発行
Printed in XXXXXX